京城日報

十四日夕刊

定價 本紙一部金三錢五厘 一ケ月金六十五錢 三ケ月金一圓九拾錢 六ケ月金三圓七拾錢 ▲郵税代用二割増
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別…
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 …

林公使の反覆說明

夏外交次長の齎らせる支那側の回答に對し林公使は誤れる報告を基礎とせる諸點を指摘し併せて我要求條件を反覆說明する處ありたり（北京電報）

希臘愈聯合側參戰か

デーリー、メール所報に曰く希臘の形勢は改善し聯合國に益々有利となれり希臘は聯合國公使に希臘の戰爭參加條件を提出せり（倫敦電報）

希臘參戰と聯合國意嚮

希臘は聯合軍に加擔すると假定して聯合國の意嚮如何を確めつゝありしが聯合國は希臘の加入するを歡迎すれども之れが代償として何等の條件を約束する事能はざる旨を答へたり（倫敦電報）

希臘首相辭表撤回

雅典來電に曰く、希臘首相ザイミス氏は國王の懇請と聯合國代表者の信任とに依り辭表を撤回せり（紐育電報）

合同進捗 今月內決行か

高田文相、濱口同志會總務、田川司法參政官の三氏は十三日文相官邸に會合し合同問題に關し協議する所あり同會合後

▲文相は語りて曰く三派合同問題は著々進捗し既に合同參加に確定せる者は公友俱樂部二十二名中正會二十四名同志會百五十四名總計二百名に達するを以て愈々來る十八日會合を催し最後の相談を爲すべく是非共今月中に新黨創立を決行する筈なり云々（東京特電）

朝鮮支廠極秘

大阪砲兵工廠朝鮮支廠新設費は四百萬圓にして二箇年計畫なるも設置地所は當局に於て極秘に附し居れり（東京電報）

總督京都滯留

西下入洛中の寺內總督は閑院宮殿下奉送後今猶京都に滯留せり（大阪電報）

兩鐵幹部の決意 辭職を賭して爭ふ

三線連絡運賃改正距離比例制に就き鐵道院及び滿鐵の幹部は孰れも辭職を賭して爭ふの決意をなしつゝありと（東京電報）

鮮銀の滿洲新貸付 奉天興銀に卅萬圓

朝鮮銀行にては支那側の特殊銀行たる奉天興業銀行との間に金融上の取引を開始する事となり最近鮮銀より邦貨三十萬圓の貸附を行ひたるが該連絡は銀行間の普通貸借關係にして必らずしも異とするに足らざるに似たれど鮮銀として外國銀行との間に貸借關係を結びたるは今回を以て嚆矢とし殊に右貸借は擔保利率等の內容に如何なる條件の附せられ居るやは窺知し難きも何等支那官憲の後援保證なき純然たる取引なる事は明らかに付深長の意義は這の間に藏せらるゝものと見るべく今後一層滿洲に於て鮮銀の活動を見るべき一例として消息通の間に注目され居れり

朝鮮神社造營決定 經費總額一百萬圓＝大正六年度豫算に計上＝竣成期は施政十週年即ち大正九年度

朝鮮神社造營の計畫に就いては本紙既記の通りなるが土木局に於ては夙に諸般の設計を了し總督の審議を經て大正六年度より之れが造營工事に著手す可く來年度豫算中に其の經費を計上したり、工事は果して明年度より開始の運を得るや否やは今期議會の協贊を俟たざる可からざるを以て今日より斷言する能はざるも豫算通過の曉に於ては之れを二期に分ち第一は五十萬圓を投じて神社宮殿を建造し第二期亦同額の經費をもつて神苑並に之れに通ずる大道路を築造する計畫にして總經費一百萬圓を四ケ年に割り當て大正九年度即ち施政十週年までに竣成せしめむとする豫定なり

小荷物取扱所 鐵道局の新施設

鐵道小荷物便の便宜なる事は世人既に知悉し居る處なるが當局にては之を更に一層簡易便利ならしめ一般荷主の便宜を增大せしめんとて今回小荷物取扱所を京城に二箇所釜山、大邱、仁川、平壤に各一箇所宛設置し內國通運株式會社京城支店をして請負はしむる事と成せるが本扱は從て斤量によりて非常に低廉なる取扱を爲し來れる事は世に知られたる處なるが小包郵便等に比し遙に安直なる便なれば今後一層利用せらるゝに至るべし

汽船同盟加入

香港汽船同盟に對し日本郵船及び大阪商船の兩社加入せり（東京電報）

生絲三十圓安

橫濱市場に於ける生絲の價格は三十圓方の安値を現はしたり（東京電報）

蔡鍔來著

蔡鍔氏は病氣療養の爲家族同伴十三日入港の伏見丸にて神戶に著したり追て福岡病院に入院靜養の筈（大阪電報）

政務總監歸期

遣路閑院宮殿下を釜山に奉迎し更に安東縣に扈從奉送したる山縣政務總監一行は十五日朝南大門驛著汽車にて歸任の筈なり

軍司令官巡視

秋山軍司令官は十四日朝閑院宮殿下に扈從奉送の爲め安東縣に向ひたるが歸路義州、新義州、平壤等の各隊を巡視し來る十七日午後七時十五分龍山著列車にて歸任の筈なるが司令官は引續き十九日迄龍山步兵第七十八聯隊及騎兵砲兵各中隊朝鮮步兵隊の順序にて巡視をなす由

古海總長歸期

遣路大使閑院宮殿下を警衛の爲め新義州まで奉送申上げたる古海警務總長は十五日午前南大門驛著列車にて歸任の筈

春川堤堰修築

春川郡新北面に堤堰修築事業開始の豫定なるが面積約二百餘町步に灌漑の見込にて工費約三萬八千餘圓を要すべく十月下旬より工事に著手する豫定なるが工費は東拓會社より借入るゝ計畫なりと又原州郡建登面文幕里に灌漑事業計畫中なるが面積約六百町步工費約九萬圓の豫定にて目下水利組合組織の手續中なりと（春川）

郵貯規則と證券

郵便貯金規則により朝鮮總督府郵便官署に於て購入及び保管すべき證券の種類は左の如し但し無記名にて拂込金完濟のものに限る由

各種國庫債券（外國にて發行したるものを除く）
勸業債券（勸銀にて賣出し中のものを含む）
貯蓄債券、拓殖債券、日本興業銀行債券

皮革會社計畫

從來大田地方は水質純良にして皮革製造をなすには好適し且つ忠淸牛は大阪にても忠淸皮として特に異彩を放ち居れる程にて生産の件ふれば需用者の多き事は明かにて現在忠淸皮革會社にて需用に應じ兼ねたる程なれば今一會社あるも何等他に惡影響を及ぼす事あらざるべしと辻謹之助、南部京平其他有力者諸氏相謀り五萬圓の株式組織とし五十圓株四分一拂込みにて事業に著手する筈にて十四日發起人會を開き確定の上其筋に認可申請をなす筈なり

商工調查依賴件數

京城商業會議所は曩に新定款により設立を了してより朝鮮及び內地或は滿洲等の商工業者が利用せんとするもの多く從來の會議所にありては調査を依賴し來る件數も僅々十數件乃至二三十件を出でざりしが新會議所設置以來一箇月に少なきも六十件多きは七八十件の調査を依賴し來るの狀況にして從つて今回の如き分科制度の必要を感ずるに至れるものなりと

記念繪葉書發行

遞信局にては始政六週年記念の爲め記念郵便繪葉書を發行し十月一日より各郵便局及び郵便所に於て之れが賣捌きを爲す由なるが三枚一組にて其の種類は左の如しと

一、全北臨益水利組合堤堰溢流堰及び平安北道泰川灌漑事業の一部川坊江堤堰の圖
一、東萊溫泉及び朝鮮皮革會社工場の圖
一、慶尙南道海印寺高麗大藏經板格納庫及び成鏡南道釋王寺の圖

にして產業及び古蹟方面に其の材料を執れり尙ほ特殊日附印は京城外主なる郵便局三十二局にて十月一日限り使用し使用方法は主として第二種郵便物に押捺するも使用期日及び使用期日經過後三日間內に於て郵便物以外の物件に一錢五厘以上の切手を貼付し特殊日附印の押捺を希望する者に對しては特に其需めに應ずる由

七十九聯隊長入京

步兵第七十九聯隊長富塚貞一郞大佐は各地守備隊巡視の途次十三日夜南大門驛著列車にて入京巴城館に投宿せるが十五日朝發春川に向ふ筈

木村理事歸京期

東上中の木村鮮銀理事は行務の都合上其の歸京は十八九日過ぎとなるべし

鮮銀營口支店長

新設鮮銀營口支店長心得として大連支店詰榊原健氏十五日附任命されたり

柳文學士北行

雜誌白樺を中心として哲學、科學、文學、宗教等各方面に深奧なる思想の發表を爲し居れる文學士柳宗悅氏は朝鮮、支那に於ける陶磁器に現はれたる紋樣等の研究の爲め頃日來入京十四日朝出發北上せり

太田醫學士北行

木下杢太郞、地下一尺生等の別名により東部文學界に彩筆を揮ふ醫學士太田正雄氏は今回奉天なる南滿醫學堂教授に聘せられ赴任の途十三日朝入京大和町二丁目渡邊醫學士宅に一泊の上十四日夜出發北上せり

▲足立氏歸京● 久しく東上中なりし東拓殖產課長足立丈次郞氏は一兩日前歸京せり

▲釜山視察團● 釜山商業會議所主催たる浦鹽及び滿洲方面視察團一行は十一日午前七時無事浦鹽に上陸せし旨石原源三郞氏より打電報知ありたり（釜山）

釜山酒造稅高

釜山府財務課にて酒造稅令發布に際し九月一日以後各方面に付調査なしたるに合計四萬五百七十九圓餘なるが其內に最も多額を納稅するものは神戶鈴木商店出張所酒精九百六十二石五斗六升八合にして一萬八千餘圓なり其他は大小に合計三千八百卅九石二斗二升にして一萬二千五百七十九圓なりと

清津

▲宮殿下奉送迎● 柳忠北道長官及び櫻井內務部長は御名代宮殿下奉迎送のため十三日午前十時清州發秋風嶺に赴く ▲第一部長出張● 齋藤忠北道第一部長は地方事務及び道路視察のため十三日沃川永同地方に出張 ▲判檢事出張● 本春清州郡稚倉面に於て起りたる强盜殺人事件實地檢證の爲め去る八日現場に出張中なりし公州地方法院淸州支廳山判事兩角檢事の兩氏は十二日淸州を經て歸任したり ▲陸地棉好況● 屢々凶作を傳へられたる忠北本年度陸地棉作は其後當局に於て極力善後策につき指導獎勵をなしたる結果今日に到り漸く愁眉を開き得るに到り今後天候適順ならんには優に八十萬斤反當り八十斤の收穫を得る豫想なりと ▲地方經濟界近況● 農繁期に際せると與に在米漸次缺乏に向ひ市場の出穀甚だ稀なるため米價騰貴を來し當用米の逆輸入を見るに至りしが八月下旬に及び全鮮稻作豐穰の聲起り米價幾分下落したるが然も商一般購買力旺盛ならざるに依り市況引立たず僅かに盂蘭盆前に際して多少の取引を見たるのみなれば資金の需用從つて起らず金融依然緩漫なり今當地農銀支店に就いて八月末帳尻を見るに預金總額十五萬一千六百三十五圓貸出八萬八千四百七十圓にして之を前月末に比し預金に於て約二千圓の減少を見貸出しに於て僅かに六千圓の增加を示したるのみ更に淸州農工銀行支店の爲替取組高を見るに前月と殆んど大差なく仕向け六萬七千八百圓被仕向け七萬五百餘圓に過ぎず引續き閑散を極めつゝあり

元山

▲元山附近農況● 元山附近に於ける農作の見込なりし大豆の如きも過般來數回に亙れる水害の爲め作況極めて面白からず粟稗類も亦前年に比し出來榮著しく惡しき模樣にて此の外農作物も一般に前途を悲觀されつゝあり ▲稅關所長會議● 元山稅關管內支署出張所長會議は目下開催中なるが全鮮稅關稅務主任打合會議終了の翌日即ち十七日より元山稅關內に於て引續き開催する筈にて豫定は三日間なりと ▲組合會計檢查● 元山學校組合會計檢查は十二日午前九時より會計檢查委員本岡卯之吉大塚四郞の二氏に依り元山府廳內に於て施行せられ同十一時無事終了す ▲商議評議員會● 元山商業會議所は十四日午後一時より評議員會を召集し議事細則に關する件人事に關する件及び外三件に就き協議するところありたり ▲學務委員會● 十四日午後三時より元山公立普通學校內に學務委員を召集し同學校林設置に關する件學事獎勵に關する件及び外二件に就き協議會を催せり

永興

▲市況● 永興郡に於ては最近穀價の昂騰に伴れ穀物の出廻り多く而も盂蘭盆前の事とて市況一般に繁盛を呈し來れるが穀物中粟稗の如きは何れも十四錢の上値を見せ前月に比し一錢六厘高、小麥は七錢を唱へ前月より一錢高にて出廻り盛況を告げ木綿類は原地相場の騰貴に因り一定十四五錢の上昇となり石油は俄然一箱に付八十錢の暴落を見たり ▲金融● 永興郡一般金融狀況は前月に比し大差なかりしも本月に入り小麥、永興紬、砂金等の出廻り盛況を呈し以て市場に幾分の活氣を添へたるが爲め金融界亦た小繁潤に經過しつゝあるもの如し ▲農況● 永興地方農作物は前月まで概ね成育良好なりしに本月上旬の暴風雨に因り大豆、黍、稗等の成育を阻礙せられ且つ其後霖雨斷續したる爲め氣溫俄かに低下し結實期に多大の惡影響を及ぼせり稻作は用水潤澤に過ぎたるを以て稍ゝ生育狀況不可なるが如しと ▲永興紬● 永興の名産永興紬は曩に機業組合の成立以來紬の改良販路の擴張等斯業發展に資する處尠少ならず故に輓來日ならずして各方面より大口の注文續々として絶ゆる暇なきの盛況にて頗る前途を囑望せられ居れり

鎭南浦

▲廣梁灣鹽況● 廣梁灣に於ける七月中の採鹽高は九百三十七萬八千三百斤にして本年一月よりの累計三千五百三十四萬斤に比すれば千九百十六萬七千五百八十斤卽ち約五割四分の增收にて而して同月中販賣のため南浦其他に輸送せし鹽量は六百九十萬四千斤なりと ▲中村組々織變更● 鎭南浦中村組は今回愈々合資を改め株式組織に變更する事となり同時に從來の資金十萬圓を三百萬圓に增加する事となり其の株主は之れを他に求めずして悉く內部に於て募集する筈にて目下門司に在る組主中村精七郞氏は來る廿日頃其用務を帶び來南する由なり ▲商工學校長著任● 鎭南浦商工學校教諭毛利森一氏は十一日平壤に著し十二日著任したり ▲南浦鮮銀帳尻● 鮮銀鎭南浦支店に於ける八月中の帳尻は預金は總額に於て三十萬二千十圓にして前月に比較すれば四萬八百八十一圓の增加にて貸出は一百一萬二千百六十九圓にして前月と比すれば十五萬二千四十四圓を減じたり ▲關口檢事正巡視● 平壤地方法院檢事正關口半氏は十一日終列車にて來浦朝日旅館に投宿同日午後七時より玉屋に於ける茶話會に臨席し十二日支廳分監警察等を視察し十四日廣梁灣に向ひ鹽田を視察の上餘山江西を經て歸任 ▲平鮮支店長出發● 今回南浦支店長より平壤支店長に轉任したる津村甚之助氏は去る十三日家族同伴公式に赴任したるが停車場には官民多數の見送りありたり

仁川

▲仁川經濟會● 仁川經濟會にては來る十五日午後一時仁川ホテルに於て會長選擧に關する評議員會を開催する筈也 ▲仁川發達史● 仁川商業會議所にては數年來計畫中なりし仁川開港以來の發達史を今回編輯する事となり近日中に著手する筈なるが其期日は未だ未定なりと ▲櫻井稅關長● 櫻井稅關長は品入札監視の爲め出京中なりしが十二日午後歸任 ▲會議所協議員會● 商業會議所協議員會は十五日午後一時より同所樓上に於て開催し內地人役員一名の補缺選擧をなす筈 ▲松元署長● 仁川警察署長松元視は十二日午後歸任したり ▲久水府尹● 久水仁川府尹は遣路閑院宮殿下奉迎送の爲め上京せり ▲伊東海事所長● 伊東海事所長は豫ねて出京中なりしが此程歸任したり ▲仁川俱樂部送迎會● 十三日午後七時より仁川ホテルに於て催されたる電燈會社新舊支配人の送迎會は定刻に至り開會之れに對し兩氏より答辭あり盛會裡に午後九時半散會せり ▲奧田會頭● 目下上京中なる商業會議所奧田會頭は會議所會頭會議は要件濟まざる由にて目今の處歸仁期は未定なりと ▲會議所二書記● 商業會議所大童、伊藤の二書記は來る十六日より二十日間の豫定にて全鮮米穀作柄及び其他狀況視察の爲め出發する筈 ▲高山校長遺族● 先に逝去せる商業學校長高山氏遺族の爲め有志者に其々醵金を集め贈らんと目下奔走中

大田

▲共同販賣● 大田牙山舒川大安燕岐論山保寧扶餘の八郡は大田にて夏秋蠶共同販賣を爲す筈なりしに扶餘は降雨の爲め不參其餘七郡の分十日より十三日までに競爭入札をなさしめたるが夏秋蠶四十八石九斗二升春蠶二石二斗四升六合出穀高一貫九百八十一匁あり其價格最高は舒川郡の五十六圓七十錢最低燕岐の二十三圓六十錢にて大田郡は四十三圓七十錢なりしと ▲長官部長來田● 小原忠南長官は十三日午後四時四十五分著湖南線列車にて齋藤警務部長は十二日午後何れも遣路大使の宮殿下奉迎送の爲め來田十四日牙山まで奉送の上歸任 ▲滯在客一掃● 京釜線水原驛まで不通となりたるを以て多くは水原に至りしも當地まで來りしもの多く爲めに旅館は一時賑はひたるが十三日より通じたる爲め全部出發せり

論山

▲作物豫想● 論山郡に於ける作物豫想は水稻二十一萬四千三百九十一石昨年實收より一割八分增陸稻五百四十八石二割五分增粟三百七十六石九分減大豆一萬四百八十六石一割の增にて例年に比し豐作と云ふべしと ▲會社總會● 論山酒造株式會社にては來る二十日總會を開き諸般報告を爲す筈なるが一部役員に異同あるべしと豫想せらる ▲被害調査高● 去る三日來の降雨の爲め水害を被りたる地方は江景にて約四十町步の水稻一晝夜浸水に浸されたるも約半作位は取揉出來得る見込み又連山にては全潰一半潰二浸水三損害見積五十九圓道路橋梁三十六圓堤防百五十圓位の見積りにて前回に比する時は水害と云ふ程の事なし ▲桑苗配布數● 論山江景を除く各面に一萬本宛て實生桑苗配布植付けを爲す筈にて是れに要する桑苗十五萬本なりと ▲繩叺組合● 繩叺成淮販賣組合を作り組合員を各面に募集し機械千五百三十九臺を購入し本年新桑出來次第製作に從事する筈なりと

鎭海

▲懸案道路著手● 數年來の懸案となり居たる鎭海市民が待ち焦れたる鎭海より昌原に通ずる道路は十五日を以て慶尙南道廳に於て入札に附せらるべき旨請負人側に通達ありしを以て今度は愈々來月一日頃より著手せらるべく同工事は總計五萬六七千圓を要する二個年繼續なれば本年は鎭海を起點とし約二萬七八千圓の工事費なるべく慶和洞裏市街より頂點までは十五分の一勾配の安眠峠は五十尺の掘割を見るべしなる設計なりと ▲虎疫豫防● 內地の虎疫流行に伴ひ當地と漁船貨物船の直接交通ある對州部にては患者少なからざるより鎭海要港部にては警察署と協議の上釜島東水道北島附近に毎日汽艇一隻を出張せしめ午前八時より午後十時迄嚴重に檢疫を勵行し夜間の入港は禁止し翌日まで北島に繫留せしむべく十一日より實施しつゝあり

人事消息

▲太田正雄氏（滿鐵社員） 十四日朝退京
▲三浦文學博士 十四日朝入京龍尾旅館へ
▲西崎鶴太郞氏（鎭南浦商業會議所會頭） 同上
▲松井民次郞氏（平壤鑛業家） 十四日朝入京
▲川崎繁太郞氏（鑛務課技師） 十五日慶南全南忠南三道管內に出張
▲疋田玄磁氏（同上） 十五日仁川に出張
▲菅田勇氏（廣梁灣出張所事務官） 十六日出帆
▲二宮常八氏（同技師） 十六日平壤及び朱安に出張
▲岩城信太郞氏（土木局仁川出張所技師） 十六日鎭南浦に出張
▲堤道三氏（鮮銀理事） 十三日南鮮より歸京
▲安藤中佐（平高級參謀） 十四日朝新義州へ
▲中村大三氏（十八銀行經理部長） 十四日朝出發赴任
▲中西定太郞氏（東京弘濟院主） 湖南湖東線方面視察の途次十三日午後九時入京巴城館に投宿十六日北行
▲ケフトレル氏（京城獨領事） 十四日朝歸京

台水閣下を悼ふ 軍經理部長官邸付給仕 里將

主も亦貧し居られん今日の月
倚絵と獨り名月な眺めけり
名月は變られど主在さず
名月の中に主の面ありくと

閑院特派大使宮殿下 南大門驛御通過

滿街の旗影御平安を祝ぎつ

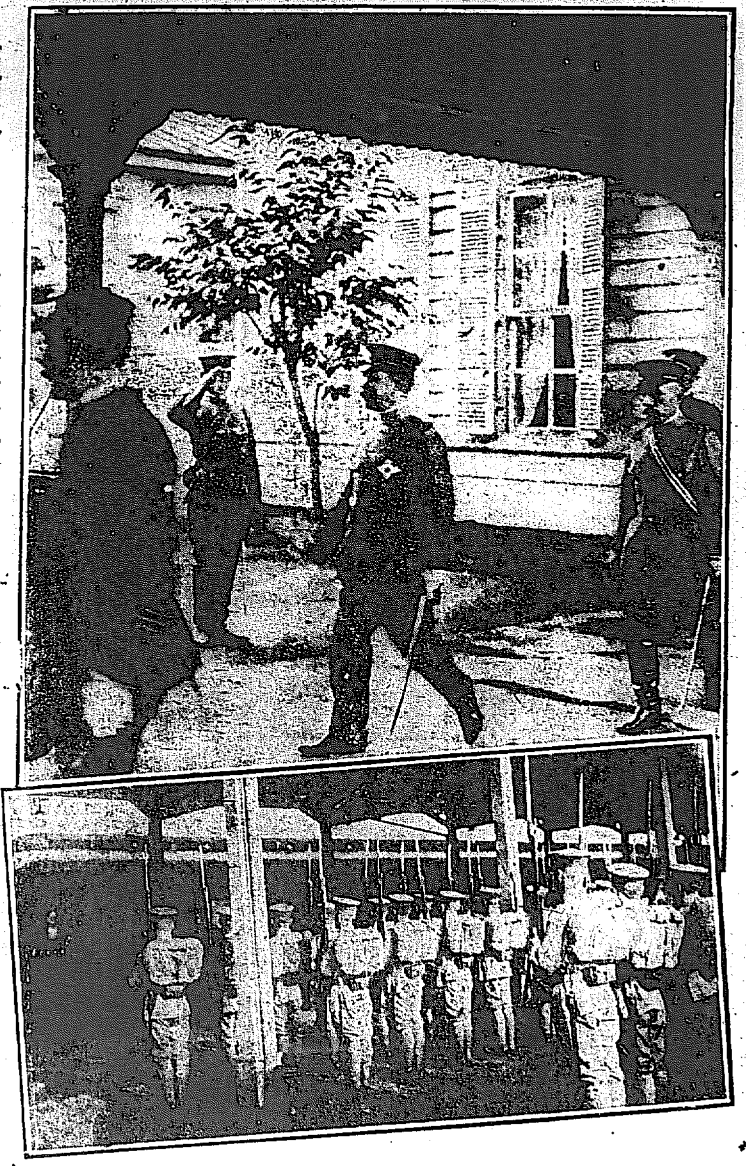
日露親交の使として遠く露國に赴かせらるべき閑院大將宮殿下には十四日午前七時二十五分南大門驛御安著、構内貴賓室に御休憩の後ち同七時五十五分再び鐵路滿洲へ向はせられた、此の日京城の空は秋晴れて滿街の國旗殿下の一路平安を祝ぐが如く見ゆる中に別けて南大門驛頭には構内入口に日の丸大國旗を交叉したる下を奉送のために集ひ來る禮服軍裝の人々織るが如くであつた、プラツトフオームには北方陸橋の階段を起點として赤十字社員愛國婦人會職員、民間代表者、新聞記者、奏任文官、朝鮮貴族、外國領事、勅任文官と奉送迎の位置を定め猶ほ貴賓室入口を界として陸軍將校、一個中隊の警衛隊、在鄉軍人學校生徒等の席を設らへてあつた

▲颯爽たる御英姿

朝早くより集ふたる奉送迎者の中には芳賀軍醫總監、白水少將、趙副將、李、趙兩參謀等を初め軍司令部及び第十九師團の幕僚あり英、米、佛、白、支那の各領事あり、總督府各部局の高官あり、プラツトフオームは溢るゝ如き文武官の劍光帽影に滿されてあつた、斯て殿下の御召列車は豫定より遲るゝこと十五分にして南大門驛に安著した、午前七時二十五分機關車に國旗を交叉したる特別列車の靜かに停るよと見る間に殿下は陸軍大將の御正服を召させられたる御英姿に胸間に大勳位菊花副章を佩ばせられつゝプラツトフオームに御下車遊ばさるゝや警衛隊の吹奏せる君ケ代の喇叭響き渡ると共に内山侍從武官長安達公使、吉田式部官、中島陸軍少將、中島御附武官、松井事務官、黑澤步兵中佐、合田三等軍醫正等の人々殿下に隨ひ奉り猶ほ釜山まで奉迎せる山縣政務總監、秋山軍司令官立花第十九師團長、古海中將、大屋鐵道長官も殿下の後に續いた、

▲李王殿下の奉送迎

殿下は先づプラツトフオームに御出迎ひ遊ばされたる李王殿下に御對面あり藤波通譯官の通譯にていとも懇ろなる御言葉を交されたる後續いて李堈公殿下、李埈公殿下とも御挨拶遊ばされ更に内山大將、秋山、立花、古海の各將軍を隨へさせられたるまゝ構内に奉迎せる陸軍將校一個中隊の警衛隊、在鄉軍人、學校生徒等に一々擧手の御會釋を賜ひ更に外國領事團の前にては一々固き握手を交され傍らなる佛蘭西領事には佛語にてありがたき御言葉を賜ひ大屋長官の御案内申し上ぐるまゝに構内貴賓室に成らせられた



閑院宮殿下、御車に召されんとす(上) 警衛中隊の捧銃敬禮(下) 十四日午前七時南大門驛にて

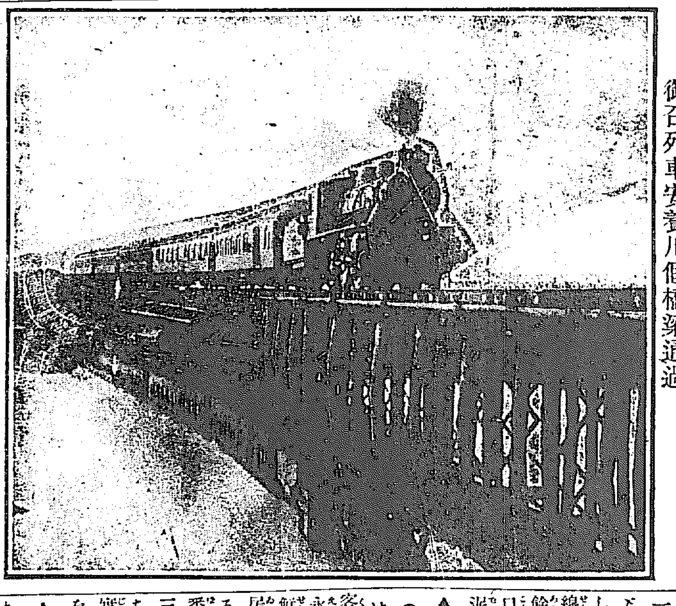
▲御召列車朝風を衝いて北へ

室には豫て殿下の御趣味を承りていとも風韻ある杜松の盆栽、石菖の水盤など設らへたる後ろに金屛風を繞らされたるが殿下は此處にて再び李王殿下、李堈公殿下と御對面あり猶ほ石塚、國分、池田、宇佐美各部長官及び渡邊高等法院長に謁を賜ひ續いて朴泳孝侯、李完用伯等の朝鮮貴族を始め民間代表者の中村再造、趙鎭泰兩氏にも拜謁を許されたのであつた、斯くて大屋鐵道局長官より御發車の時刻の近づけるを申し上ぐるや殿下には再びプラツトフオームを進ませられつゝ善美を盡したる特別列車の貴賓室に入らせられた、續いて軍裝の金光燦然たる内山大將、中島少將等の陪乘し了るや御召列車は朝風を衝いて龍山に向つて出發した、殿下は畏くも車窓に起立せられたるまゝ奉迎の人々にいとも難有き御會釋を賜ひ、奉送の諸員は殿下御一行の御平安を祈りつゝ拜送したのであつた。

◆安養川假橋梁警戒の記
御徒步の事もやと警戒し奉れるに 御召列車の恙なく通過せるいと畏し

閑院大使の宮御通過と云ふ時も時、折も折とて京釜線始興安養間の出水が頗る問題となり復舊工事が御通過當日迄に竣工するか否かは鐵道當局でさへ心中秘かに不安とする程であつた。然し十三日午後六時頃には兎に角試運轉の列車が通過したと云ふので先づ〳〵一段と氣は安んぜられたが記者が第二回目の通過即ち第一回公運轉列車(南大門十三日午後八時十分通發)に乘じて現場を通過した時には十六夜ふ月影明に物の影鮮かなしずむ程

▼被害の跡も 凄まじく所々うづ高く小積まれた工事用の木材や土砂やも物々しく殊に未だ全く眠みきれない築堤や盛土のまざ〳〵たる有樣や其上に敷かれた枕木の寧ろ急を取柄に取りつくろはぬ有樣や何處となく不安に捉はれた乘客の面持に殊更らしく映じ來り耳を澄せば[illegible]



御召列車安養川假橋梁通過

れば『此三四日洪水の爲め不眠不休だからお斷りする』との事、夫れで困ると遂に居据り談判に及びヤツトコサで兎にも角にも譜々ながら承引を得た——其宿である。愈々蘇く昇り愈々清く成りまさる

[illegible]僅か一分時にして無事通過、渡橋と同時に汽罐車の吐く蒸汽一時に勢ひ強く速力を早めて列車の影は須臾にして彼方始興あたりの山影へ隱れ去つた。虫聲鳴々御召車を送りて繁し(安養川にて愚星)

▲平壤御通過 御鄭重なる御會釋

閑院宮殿下には御機嫌麗はしく十四日午後一時平壤驛御著同一時六分御發車あらせられたりプラツトホームには文武官、名譽職員、日本赤十字社愛國婦人會々員、民間代表者在鄉軍人會員、學校職員生徒等多數奉送迎せり殿下には展望車に立たせ給ひ一般奉送迎者に對し鄭重なる御會釋を賜はりたり(平壤特電)

▼一時間六哩 と云ふ大徐行の列車の軋る音と共に何處よりともなく枕木の地に減り込む音もする樣に思はれた。此大徐行の最中[illegible]南大門行の急行列車假[illegible]

▼月影に慈々 [illegible]

▽假橋に差し [illegible]

◆大邱御通過

閑院道露宮殿下には十四日午前二時五十分大邱を御通過遊ばされたるが旅團長、道長官、警務部長府尹其他官民百餘名及び軍隊の送迎ありたり(大邱特電)

[illegible]橋通過時の撮影なやると言ふ。兎も角も此計畫も無事成功して取枠み抱ねたS氏を一時間近く遲延發した貨物列車で送り一夜の假宿へ行く。此宿たるや豫て安養驛には宿の無い事を聞いて居たので京城出發前南大門驛に電話で交渉し安養の驛長に對し、驛前の雜貨屋に特別泊り込み方交渉を頼んで置いたのに行て見ると[illegible]

▼電話は來た 樣ではあつたが混線して何が何やら騒張り要領を得ぬと云ふ始末、然らば改めて御願ひ申すと談じ入れば助役の曰く『私は清井里から加勢に來てるので…』と云ふ折柄出勤した驛長に特願する派出した特使が歸つての談に依[illegible]

◆金泉御通過

閑院宮殿下には十四日午前二時金泉驛御通過北行遊ばされたるが同驛には官民の奉送迎盛んなり(金泉特電)

[illegible]中よりも同じ不安の色を浮べしが附近の誰れ彼れ迎送警護の誰れ彼れ[illegible]らん顏の數々、硝子戸に相接して被害の跡を眺め入る。恁くて假橋上も[illegible]

◉莊嚴を極めたる 御靈移の行列
伏見桃山乃木神社正遷宮執行

伏見桃山に新設の乃木神社正遷宮は十二日夜より十三日に亘り執行せり十二日早朝本殿に記念館内假殿の裝飾をなし日暮るゝと共に庭燎を設け準備全く成るや午後八時より可兒祭主を初めとして神職等村野山人氏と共に參列し修祓式を行ひ祭主先づ假殿の神前に進みて祝詞を奏すこの時庭燎嫋々として燃ゆ神殿莊嚴を極むかくて御靈移の行列を整へ村野氏信徒總代として供奉し茲に假殿を出で本殿に進み行けば庭燎消へ盡して笛の音幽き神殿の氣迫る行列は本殿に入り祭主等しく正御靈代を神庄に奉安す此時庭燎再び燃え炎々として神庭を照す祭主祝詞を奏し玉串を奉奠し參列員一同拜禮して式を終り而して十三日は未明神殿を裝飾して正午前祓式を擧行し茲に正遷宮を終ると(大阪特電)

◉群衆電車二臺を滅茶々々に叩き壞はす
守備隊の急行 釜山椿事後報

釜山鎭永嘉臺[illegible]停留所を南方に距る約半町の地點東萊温泉より約一里半釜山より約一里京釜線との交叉點に於て東萊温泉場を發し釜山に向ひたる朝鮮瓦斯電氣株式會社の第一號車が十三日午後九時頃鮮人三名を殺傷したるより端なく

▲一場の騷擾 惹き起したる事は前報の通りなるが轢死したる鮮人は釜山府佐川洞三百三十九番地金春賢(四八)と云ふ者にて當日は恰も朝鮮人の盆の事とて午前中より村民男女と共に永嘉臺に集合し飮食歌舞に一日を遊び暮らしいざこれから月見と云ふ頃より金春賢は甚だしく酩酊したるより近隣の香仲間と共に電車線路に傳つて歸宅の途に就きたるが餘りに酩酊したるより前記永嘉台南口停留所附近に於て休息し金春賢は泥醉の餘り電車

▲線路内に横臥 し居たるもの、如し一方瓦電會社の電車第一號は運轉手進芳雄車掌朴相根とにて乘客二十五六名を乘せ東萊温泉を發し永嘉臺にさし掛りたるも折りから鮮人の群衆線路附近に充滿して遊び居たるより其の間を徐行し南口を下る際前記金春賢及び佐川洞二百十六番地金姓泌同洞百十九番地金在有の三名電車に觸れたるより運轉手は直ちに電車より飛び居りて見れば金春賢は首を線路外へ刎ね飛されて慘死を遂げ金姓泌金在有の

▲兩名も重傷を 負ひたるより大いに驚き附近の鮮人を呼び集め應急手當を加へんとしたるに永嘉方面より驅け付けたる多數の鮮人等は此の慘狀を見るより大いに憤怒し電車に向つて盛んに投石を始めたるより乘客は車掌の注意に由りて何れも散々に難を避けたるが鮮人等は愈

▲引摺り上げて 亂打し二人は重輕傷を負ひ人事不省に陷るを見るや鮮人等は鬨の聲を揚げて『有つたけの電車や汽車を叩き毀して終へ』と殺氣漲る處へ此の急報に接し瓦電會社釜山鎭電車課より第七號電車を以て乘客收容の爲め李警部及び巡査三名を乘せ運轉手和田一車掌金東順乘車して永嘉臺に向ひたるが此の時勢付きたる群衆は再び鬨聲を擧げて第七號列車を襲撃し之れを轉覆破壞し

▲運轉手車掌に 重輕傷を負はせ事態容易ならざるより折から釜山驛に集合し居たる釜山守備隊の一部隊を同地に急行せしめて一時暴民の騷擾を鎭壓し十四日午前八時より釜山地方法院檢事現場に出張取調べを爲したるが一方釜山警察署にては橋本署長以下同署員は徹夜活動し十四日午前に至り主謀嫌疑者三十名を捕縛し目下嚴重に取調中なり(釜山特電)

◉八千九百圓 損害賠償事件

既報の如く國代表者遞信局長官池田十三郎氏より當時郵便物請負人大野峰次郎に對する八千九百圓の損害賠償事件は十三日午前九時より五味裁判長係りにて口頭辯論開始國代表者代理人として橋川大邱郵便局長被告辯護人武尾岸本の兩辯護士出廷し雙方より證憑書類提出し被告辯護人より當時遞送人牛島政夫を證人として召喚する事及び當時の馬車に乘車し郵便物紛失箇所に裁判官の臨檢を受くる事を申請せしが裁判長は實地乘車臨檢の件は一時保留すべく慶州檢事局の聽取書牛島の召喚、當時の馬車を裁判所にて檢査すべき件は採用すべきを宜し午前十時閉廷せり次回は來る廿二日

◉糸織の羽織で蔡鍔將軍
福岡へ赴き箱崎の假寓に入る

福岡大學病院に入院すべき四川督軍蔡鍔氏一行十四名は十四日午前七時商船香港丸にて神戸より門司著直ちに自動車にて福岡に向へり蔡氏は糸織の羽織と單物の下に浴衣を重ね巴奈馬帽子を被り袴を著け赤靴を穿ちたるが元氣銷沈し居れり家族其他の人々は汽車にて福岡へ赴き夜に麝方震氏の借り置きたる箱崎の假寓に入る筈なり(門司特電)

◉長崎縣の虎疫

一時減退の兆ありし長崎縣の虎列拉は又復盛り返へし初發より累計八百を超ゆ本月一日以來毎日平均廿二名の發生あり對馬は此上蔓延せざる見込みなるも佐世保市附近は益々猖獗の模樣なり(長崎電報)

◉母に生血を勸む
郡内で評判の孝行息子

京畿道水原郡水原面新豐里尹曬榮の二男尹龜燮(二六)は實母河姓女(四五)の病氣に罹りしため寢食を忘れ看護に勉めたりしが到底回復の見込なきために臨終に際し朝鮮古來の迷信に依り實母を再生せしめんとの目的より枕邊に座し自己の紅指頭を約八分位の刀を以て切開し鮮血を搾りて實母の口中に注入せしに遂に蘇生せざりしと此噂を聞き傳へて郡内の住民は其孝心に感じ居れり

讀者文藝 (一等には五十錢の當籤券を呈す)

▽ものは付け『結構なものは』

◯禮云ふ時の貰ひ物(一等) 群山金州通り 中根 吐虹

▲新附の同胞 釜山 杉本生

▲芽子を持つ娘 龍山 山家 香公

▲開たら寢はたもち 平北 宮崎生

▲氏なくて玉の輿 京城 多美子

▲三丈綱舞ふ[illegible] 京城 東海

■課題及び募集規定は欄外にあり

◉金縁眼鏡を盜む 熊本縣飽託郡川上村生れ京城本町四丁目居住今井憲彦(三七)は九月六日午前十一時頃永樂町二丁目木村某方に忍び入り金製眼鏡外一點(二十圓)を窃取し本町四丁目の竹島質屋に入質して酒色に消費し本町署に引致さる

◉殉職看護婦長葬儀 故京城府順化院看護婦長和田シゲ子の葬儀は十四日午後四時旭町護國寺に於て執行さる可し

◉訂正 十二日朝刊『金玉均氏を暗殺したる李世植富豪より數千圓を詐取す』と云々の記事中金玉均の暗殺に關係したる[illegible]訂正す

●朝鮮在籍船舶 最近調査に[illegible]

■課題及び募集規程 ▲用紙は端書又は[illegible]の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名[illegible]

天氣 曇り ▲九月十五日[illegible]

●熊本縣視察團と平壤 熊本縣教育會の主催に係る滿鮮學事視察團は九月二十三日午後六時來壤市内の諸學[illegible]

●連絡船上陸客 十一日午後[illegible]

●教育者の視た 滿洲の學校

△自由を有つ小學校

兒童心理の研究者として今夏大連の教育講習會に赴きたる東京女子高等師範教授倉橋惣三氏は滿洲の土産ばなしとして曰く、自分が視た

△滿洲各地 の内地人小學校は何れも内地に較べて自分の自由を有つて居る、滿洲の何處に往つて見ても皆その土地に於ける教育關係者の意見により其の土地特有の教育を施して居る、例へば

△暑中休暇の如きも内地と同じやうに休む處もあり休まない處もある位麼ことは内地のやうに窮屈にないやうである、また滿鐵の經營する學校ではあの長い大連と長春の間が非常によく連絡がとれて居る、これは

△教育者が 自由に鐵道を利用して集合することが能きるのとまた一つには本社の教育關係者が沿線を視察するにも電報一つ打つて置けば汽車の往く途ミ車中でも諸般の打合せが能きる爲めである、然し斯く便利に連絡がとれても一方劃一的にならぬやう校長は自分自身の土地に適應した自由な教育を施して居る、以上のことは自分が非常に羨しく思つたのであるが次に

△自分希望 を云うて見ると滿洲の如き植民地の兒童にはなるべく郷土の感念を與へて貰ひたいといふことである彼の富士山を知らず内地年中の行事を知らず花を知らざる殖民地の兒童に何うして日本の事を知らしむるかといふ事を大に考へて貰ひたいのである、併しながらまた

△一方兒童 の居る土地そのものゝ研究が偉大なるとは云ふまでもないが滿洲の自然界を教材とするをも必要であらうこの點は内地そのまゝの國定教科書を用ゐて居る

△滿洲では 特に注意する必要があらうと思ふ中には既に教科書以外に兒童に讀ませる補習讀本を編纂して居る處もあるから相當考へられてあることゝ思ふが唱歌の歌詞などもいろ〳〵考へなければなるまいと思ふ

佐戸屋形と千代形

秋口から涼しくなるにつけて丸髷や島田が流行る樣になりますが、丸髷の型は只今どんな形のものが流行して居るかと申ますと、髮の結方は東京風、大阪風と判然區別されて、東京風の根の餘り上らないのに比べて大阪風は根の思ひきり上つたものが流行つて居る樣でありますが、丸髷の型になると東西とも一樣になつて居ります。卽ち以前は非常に大きな高いでこ〳〵のものが流行つて居ましたが、今では大柄でもそう大きくなく、惡く薄くない處が流行ります。そして佐戸屋形千代形と云ふ樣なものが喜ばれますが、年齡によると、お若向きで大柄の一番お年増向きでは二番の並一、又は其小振りと云ふ處になります、それから山の手と下町とを區別すれば、矢張山の手の方が大柄で下町は薄い樣です、掛に掛ける手柄は最新流行では水淺黄や藤色で暑い間は此薄目の方が流行りました、又お若向きにはとき色も可愛らしくて映りが良い樣であります茶色は大阪方面だけで流行つて居る樣であります

●川瀬氏演奏會 琴古流尺八の名人川瀬順輔氏は廿二日頃來釜の筈に付當地同流の寺澤、木下、津原の諸氏は發起となり廿三日釜山座に於て大演奏會を開催する事となり十日午後有志との打合會を開きたるが入場料は一等五十錢二等三十錢とし學生は半額とす而して收益の配分は川瀬氏が立律譜點法出版費の一部に補し殘部を三浪津以南の各地水害を蒙りたる鮮人に對し救濟として寄附する事に決したりと

―△會のいろ〳〵▽―

●惡疫豫防と守田寶丹 七月二十七日横濱入港の布哇丸が齎らしたるコレラ病菌は今や各地に蔓延して恐ろしき猖獗を極めつゝあり此の際豫防法として殺菌力最も强烈なる守田寶丹を服用せば傳染の憂なき爲め賣行旺盛なりと

○仁川柔道大會 仁川海岸町尚道館にては來る十五日午後七時より昇段者の秋季大試合を行ふ筈なり多數の觀覽を希望すと

婦人界消息

△水野靜江子(淑徳高女教諭) 丹羽實修女學校長遊説の爲め十二日入京黄金町一丁目寳修女學校止宿

△久水わか子(仁川府尹夫人) 十日内地より歸仁せられました

神社とお寺と教會

○天理教(南山町) 十五日午後二時より月次祭あるべし

○國社會京城局(初音町) 十五日午後八時より定例修行後伊東講師の『信仰の意識』の說教に次て會員の茶話會あり

○西本願寺(若草町) 十五日午後八時より宗祖聖人の御逮夜につき說教あり猶ほ十六日午後二時より婦人例會の說教あり

○東本願寺(南山町) 十四日午後二時より婦人例會あり又十五日午前十時より願如上人の命日につき說教ある由

お休日記

△弟の臨時先生 日出小學校尋六 佐藤克子

○七月二十一日(金)雨後曇 六時起床、今日は待ちに待つた樂しい夏休みの第一日であるのに、にくらしい雨の神は、朝からざあ〳〵と雨を降らしてゐる。お向ひのおばさんにたのまれ、お母さんにいひつけられ、私は弟とお向ひのとし子さんとの臨時先生、是で午前中はまるでつぶしてしまつた。明日からは規律正しく短い時間で、よく教へるやうにしたいと思ふ、兄さんが學校へいらつしつたので、トラといふあだ名を有つた小さい方の弟は『我が天下なり』といふやうな顔をして、盛にあばれる。餘りいたづらがはげしいので、晝食後學校へ遊びに行かせられた。これでやつと落付いて自分の勉强が出來ると思ひながら、二時間半ばかり勉强した。入浴後妹と一緒に散歩に行かうと思つたが、妹がかぜをひいたやうなのでよした。大きい方の弟をつれて、大正館へ圖書用紙を買ひに行つた。十時臥床。

△桃山御陵へ參拜 日出小學校尋五 藤波正枝

○八月十二日 十日にくにを立つて、京都につき、十一日十二日は嵐山や、ひがしやまを見物しました。桃山にも、さんけいしました。柳山のみさゝぎは、大そうりつぱでありました。京都はどこへいつても、にぎやかできれいな所でした。

△鈴虫を五匹捕る 日出小學校尋五 森田武雄

○八月十九日(木)晴 夕食をすまして、行軍しやうぎをしてゐると、小杉君が僕の弟を呼びに來たから、一緒に小杉君の家に行つた。そこで角力をとつたり、蝉をとつたりして遊んだ。家にかへつて晝食をすまして三時間ほど勉强して、又小杉君の家にいつた。夕飯後正木君兄弟と僕と四人で鈴虫をとりにいつた。鈴虫は五匹とつたが、二匹逃げたので、餘りは三匹しかない。僕はその中一匹をもらつて家についた。もう十二時頃であつた。すぐ床について、ぐう〳〵。

△おばあさまを見送る 日出小學校尋四 大山光子

○八月二十三日(水)晴 今朝はおばあ様が、内地へおかへりになるので、いつもより早く起き、兄弟三人で共に停車場へといそぎました。驛へ着くと大ぜいゐました。車に乗つて來る人も、電車に乗つて來る人もありました。間もなくおばあ様もいらつしやいました。[illegible]は一番に切符を買つてプラットフォームにはいりました。また森様のおばあさまたちは汽車にお乗りになりましたが、かなしいのか眼には涙がほろ〳〵と流してゐられました、ヒイ〳〵と笛がなると皆はさよなら〳〵といつてゐるうちに汽車は向ふのほうへいつて見えなくなりました。私はあとでおばあ様がいらつしやらないから、おぢい様の家はさぞさびしくなるでせうと思ひもしました。

△甲板で日の出を見る 日出小學校尋三 亥角孝

○七月二十五日(火)朝七時五十分の汽車で、東京へたちました。お父さま、お母さま、弟、いもうと、皆いつしよです。汽車から外をながめたり、ねむつたりして居ると、夜釜山につきました。すぐ船にのりました。船の上に出るとすゞしく海が美しうございました。

○七月二十六日(水)朝おきてから、お父さまやみんなさ、甲板で日の出を見ました。それからおゆにはいりましてから、あそんでおりました。ごはんをたべると、じきにしものせきにつきました。これからないちの汽車です。舟が見ゑたり青い山が見ゑて、おもしろうございました。夜は汽車でねました。

○七月二十七日(木)朝おきたら雨が少しふつてゐました。それから、富士山の上の方は見ゑませんでした。だん〳〵東京にちかくなつた時、あそこはせんがく寺だと、お父さまがおしへて下さいました。東京驛につきますと、大おぢさまや、おばさまや中おぢさまや、小おぢさまが、むかへに來て下さいました。じどうしや三だいで、四谷へ行きました。おうちでは、おぢいさまと、おばあさまとが、よろこんでまつていらつしやいました。

商況

東京債券現物特電

十四日出來値段(前日との比較)

銘柄	値段
東洋拓殖	―
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	―
南滿鐵道	―

東京公債直取引電

十四日出來値段(前日との比較)

銘柄	値段
五分特別	九七、三〇
五分津發	―
四回四分	八二、八〇
一回四分	八一、八〇
一回五分	九七、二〇〇
甲[illegible]	

深川在米特電

十四日現在高

朝鮮米	三二、二〇二
肥後米	七一、九七七
内地米	一、五七六、二二一

東京期米特電

十四日前場 十一月限 後場

	十一月限	後場
寄付	一五、一一	―
高値	一五、一一	―
安値	一四、八九	―
止め	一四、九〇	―

大阪期米特電

十四日前場

當限寄付	一四、四〇
中限寄付	一四、六五
先限寄付	一四、八一
	め止

下關期米特電

十四日前場 晴秋日和作良底抜け

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	一四、三三	[illegible]
高値	[illegible]	一四、三三	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●製粉氣迷ひ [illegible]東京製粉市場は姑らく沈み勝ちなる[illegible]限の二圓三十錢十限の四十錢貿人氣[illegible]にて商情更に變化なく[illegible]らず久しく持合の姿にて市場は[illegible]あれど安値に常に買氣の動くは[illegible]原料小麥の軟化せざるが爲めにして[illegible]會社側にては九升五合見當にて[illegible]進まん意響なるも東京製粉[illegible]近騰逆家用として[illegible]きものある以て依然九升三合を[illegible]にても四十五錢を動かさず市場は[illegible]持して降らず[illegible]改めざるに於ては止むなく無謀の[illegible]乘薄ながらも斯く[illegible]買を愼まざるを得ざる[illegible]船腹には先分引合ひ[illegible]復活も全然實施を見ず[illegible]の安値も期待せられ難きが如し

●洋紙は强調 洋紙市場は其後も人氣强調にて[illegible]は落付居れりと雖も内地市場には[illegible]既に需要期を迎へたると[illegible]行はれたる爲め漸次相場を引締め[illegible]日にては安値當時より約二十五錢[illegible]し[illegible]ロール紙の如き最近支那[illegible]さへ報じつゝあり[illegible]

●一圓高更に第二回の注文交渉中 [illegible]

●極め健實 [illegible]

●千瓢は不味 [illegible]

●多額の生産 [illegible]

●白絞油頭打 [illegible]十二圓四十錢を唱へ居れり

●生果類入荷多し 京釜線の全通と同時に[illegible]

下關相場

△朝鮮白米も不捗[illegible]

△大豆は矢張保合[illegible]

△小豆は依然不捌[illegible]

京城正米

△朝鮮一等白米(當用)	十五圓五十錢
△元山大豆(當上)	十五圓四十錢
△同	十五圓二十錢
△同二等白米(當用)	十一圓七十錢

南大門の廻轂

[illegible]

仁川現物市場

仁川玄米	三三〇叺	長湍大麥	七〇叺
金村	二〇〇叺	長湍小麥	二四叺
黄州粳麥	四五叺	黄州粳麥	四五叺
鎭原	一三六叺	長湍	一三〇叺

生魚市場

●入津少なし保合 ●正米入津少なし保合 ●小麥入津少なし保合

[illegible]

仁川期米

●十四日前場 [illegible]

●大阪天候晴天 [illegible]

●十四錢安の入電二節八十二錢 [illegible]

●移り安移し [illegible]四節七十二錢 [illegible]

●六十五錢と瓦落 大阪九節 [illegible]

確實迅速

マ 廣瀬正太郎 仁川 株式取引所仲買人 電話一六〇番 六二三番

市場零聞

●前場下げ滅る [illegible]

●底强き保合 [illegible]

●上に影響 買出動が多少人氣 [illegible]某有力者

●大買物入り込み [illegible]前場の下げ

●筋の硬化 [illegible]

●有力者の買 [illegible]

●成行果して如何 [illegible]

●增加 期正循環的に或は底抜け相場を現出 [illegible]

●作柄 [illegible]

●彼等の叔滅 [illegible]

●尚小相場手 [illegible]

●寧ろ安値は買退 [illegible]

●漫然安神賣は大に考 [illegible]

●鞘は六十錢の大下 [illegible]

●砂糖株 [illegible]

●郵船株 [illegible]

往生を弔[illegible]

●前場の手振 [illegible]

●大に賣る [illegible]

●(イ)大に賣る [illegible]

●全能く賣る [illegible]

●(リ)能く賣る [illegible]

●大利喰 [illegible]

●(ト)の大商内 [illegible]

●(日)の商内 [illegible]

●强氣筋見送る [illegible]

●何か策戰の存 [illegible]

仁川米豆取引所

十四日の十一月限

寄付	十一圓十五錢
高値	十一圓十七錢
安値	十一圓十九錢
止め	十一圓十五錢

前場 寶買取組高

九月限	一萬石
十月限	一萬八百五十石
十一月限	一萬五千九百石
十二月限	[illegible]

半均値段

一節	十一圓十八錢	[illegible]
二節	十一圓十七錢	[illegible]
三節	十一圓十七錢	[illegible]
四節	十一圓十六錢	[illegible]

北濱だより

[illegible]

演藝案内

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館
九月十五日特別大寫眞提供 エクレール新報 ○喜劇身代り人形 ○滑稽[illegible] ○新派大悲劇『盲目藝者』全三巻 ○活劇日活會社大傑作[illegible]

大阪毎日新聞連載小說 柳生旅日記 將軍家内命の漫遊
新派大悲劇 小夜嵐 入場料普通 大正館
吉田奈良雀 吉田浪子孃 南部阪雪の別 神崎與五郎東下り

天然色活動寫眞株式會社 電話一八五二(階上) 二六三七(階下) 黄金館
九月十四日より差替特別大寫眞 △喜劇[illegible] ○泰西正劇『怪幽魂』全三巻 [illegible]

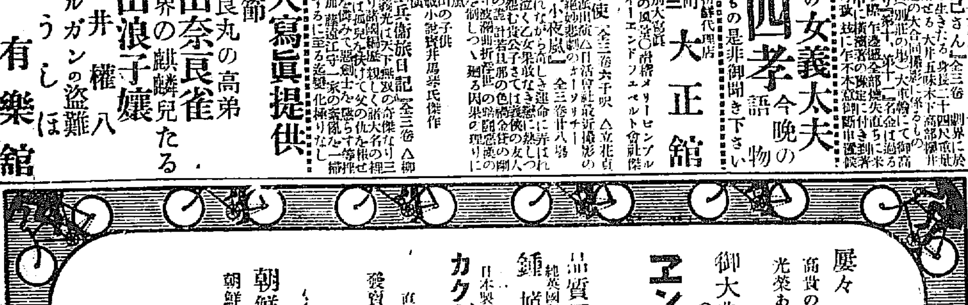
浪花館の女義太夫 今晩の語物 連夜大入 廿四孝 林之助十八番もの是非御聞き下さい
日本活動株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
九月十三日より特別大寫眞 ○實寫[illegible] ○軍事活劇『軍使』全三巻 ○新派大悲劇『小夜嵐』全三巻 ○舊劇『柳生重兵衛旅日記』全三巻 [illegible]

特別大寫眞提供 餘興浪花節 吉田奈良丸の高弟 ▲吉田奈良雀 女流浪界の麒麟兒たる ▲吉田浪子孃
舊劇 平井權八 活劇 モルガンの盜難 新派 新うしほ 入場料普通 有樂館

御成座 電話二一九一 武町 革新派中村榮一行 [illegible] 活悲劇 松居松葉氏作 笛吹川 全八場 二番目 喜劇 同士討 全三場

浪花館 明治町 電話二六〇 大阪女義太夫一座 竹本林之助一行來 [illegible]

▲產婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 中央婦人病院 院主 衣笠茂



御大典記念特製品(名古屋岡本製作所製品) 品質優良二大製品 エンパイヤ號自轉車 屢々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車 純英國製 鍾馗タイヤー 日本製極等品 カクダイタイヤー 直輸出入商 發賣元 鈴鹿商店 京都 自轉車部 本店 朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町二丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

社告 京城櫻井町壹丁目一〇五 池田某 右の者大阪和田合名會社朝鮮一手特約店と稱し居ろも弊社に於ては何等契約又は取引特約關係之無候に付此段廣告候也
追告 弊社は地方(大阪以外の地)に代理店、取次店、特約店等は設置せざる社則に候條萬一弊社を利用する者之有候時は御注告被下度候
勸業貯蓄農工 債券賣買專業 大阪市西區土佐堀電車停留所角 和田合名會社 電話土佐堀長八二番 土佐堀三九五番 振替口座大阪六一四八番
▲弊社營業案内御一報次第進呈▲

到る處藥店 大阪市 祭原伊太郎

胃腸良藥 太田胃散 ○飲過ぎ食過ぎに妙なり 藥價十錢廿錢卅錢五十錢一圓 本舗 東京吳服町 太田信義薬房 ▲全國到る處の藥店に販賣す

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價五十錢 郵税二錢 京城太平通 [illegible]

政富之栞進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 期米 今延商店 [illegible]

赤門印 人參規那鐵葡萄酒 貧血、衰弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料 是非御召しあがれ 發賣元 小西商店釜山倉庫 到る處有力なる藥種店にあり

十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

△京城温度 十五日午前 京城測候所 [illegible]

宮本武藏

第百五十九回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

さて話は前に戻つて益田四郎時貞、細川家を退身して後駿府へ來て足を止めて居りましたが此駿府で不圖懇意になりましたのが高坂甚内といふ有名の豪傑だ、高坂甚内は大盜賊だといふが盜賊ではない矢張り反逆人で徒黨を集めて天下に亂を起さうと心懸けて居りましたもの、由井正雪でも何でも同じ樣な人物で、此高坂甚内と四郎が懇意になつて互に意中を明かし合ひ、共に志を合せて天下を圖らうと相談した、で四郎は故郷天草へ歸つて一揆を起し、高坂は江戸表に於て事を擧げ、東西一度に並び起つて徳川の天下を覆さうといふ結構、四郎は其の儘天草へ立歸つて來た、高坂は江戸へ戻つて徒黨を集め、時機を窺つて居りました、然るに四郎天草へ立歸つて見ると既に毛利宗意軒を初め諸國の浪人、百姓を煽動して一揆を起し、切支丹を盛立て、猶肥前島原の土民之れに應じて松倉の領内原山の古城を取立て、之に立籠つたといふ事を聞いて時貞大に驚き天草へ着すと直ぐ毛利宗意軒の許へ來たつて面會した、宗意軒時貞を見て大に喜こび此度一揆の總大將と仰ぐべき人物は御邊を措いて他にない、什麼か我々の企を助けて貰ひたいといふと時貞も元より望む所であるから直ぐに承諾をして茲で宗意軒に從つて其所へ立出でた次第であります、一同四郎の姿を見て不思議に思つて居る、毛利宗意軒此時に 宗『此所へ伴つたる少年こそ元小西攝津守行長の家臣益田甚兵衛が次の子息同姓四郎時貞と申す今年十七歳の少年、武藝十八般は愚か天文地文醫陰の兩道、兵學は孫呉の秘奧を究め世に珍らしき奇童、之こそ未鑑の名文にある如く、天の降せる奇童我々一揆の總大將と仰ぐべき人物である、第一此少年天帝如來より傳へ受けたる切支丹の法術を持てり各々不審あらば眼前に此奇術を見給へ』兼塚忠右衛門此時に 忠『小西攝津守の家來益田甚兵衛は我等が舊友竹馬の友とも申すべきものなり、其甚兵衛殿の子息とあらば何か異存あらんや、但し其天帝如來より授かりし所の神術あらば眼前に於て不思議を顯はし、諸人の疑惑を砕き給へ、

時『申すにや及ぶ、此處に於て一つの不思議を見せ申さん』と四郎時貞立上つて、正面に懸けたる天帝如來の畫像の前へツカ〳〵と進み、傍の華瓶に差してある金銀の造花を一枝取つて之を高く差上げると、何處から飛んで來たか鳩位ゐある赤い鳥が二羽、造花の枝に止つて羽を休めて居る、百姓一同之を見と ○『ヤア大層綺麗な鳥だ、何處から飛で來たか能く驚かないで彼の造花の枝に止つて居る不思議な事もあつたものだ』と見て居る中に件の鳥が奇なる聲を出して囀たかと思ふとパツと羽叩き高く海手の方へ飛んで行く四郎に於ては其造花を持つて後から追つて行くと彼の小鳥は海上遙かに飛去つて行く樣子、其時時貞身を跳らせて海中へ飛入ると漫々たる青海原の波の上をドン〳〵歩いて行く之を見て一同膽を潰して ○『ヤア不思議な事があつたものだ、波の上を歩行いて行く能く溺れないものだ』と見て居る中に七八丁ばかり波の上を歩行いて行つたと思ふと彼の小鳥俄に元の造花の枝に止りました、時貞之を高く差上て再たび波の上を踏で元の場所へ立歸り 四『如何に各々、天帝如來より授かりし妙術斯の通りであるぞ什麼ぢや』といふと一同の百姓ツーツと鬨の聲を上げ ○『アラ尊とや忝けなや、南無天帝如來ハライリ、センスバリ、センスバリ』と異口同音に叫ぶ、ハタと横手を拍つた兼塚忠右衛門 忠『此神力があれば如何なる大軍が押來ると雖ども更に恐るゝ事はない、今日本六十餘州に此切支丹宗門の弘まる事疑ひあるべからず、アラ尊とや有難や、此上は益田時貞殿を以つて味方の總大將と仰ぎ島原へ押渡り原の城へ立籠つて天下の大軍を引受け、花々しき合戰をなさんに如何に各々 ○『言ふにや及ぶ』と一同の面々茲に勇氣益々盛んと相成り、急いで出船の用意に及ぶ。

京染 呉服 京都 たまや出張店 永樂町三丁目 電話一二九六

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

九月十六日九星
舊八月十九日 丙辰
木命 五黄 八方危 友引

▲五黄 自然心する事有日落付て新事見合 南方は吉將劍なし▲六白 華美なる日轉居入學行商名弘 營業求職婚禮美術金融業移轉吉▲七赤 渡情の日轉居開業入門名弘求職 出漁 婚禮仲立業等皆吉▲八白 假染なき事有日新事手控 舊事藝は妨なし▲九紫 繁榮の日轉居開業入學名弘株上金談求職緣組定期築等皆吉▲一白 喉はせ主義の事有日新事手控舊事は吉 買物雇入等に用心の事▲二黑 色情の紛失物用心の日 新事手控舊事は吉 婦人のせわな爲す勿れ▲三碧 頭痛の起る日怯て爭な爲す勿れ 新事手控常の事は吉▲四緑 不審不惡の日と雖 新事控日の方吉 移轉旅行は妨なし

●月やく 月やくとまり又は不順にて人知れず心配し他の藥を用ひて効なくお困りの方は三錢切手封入お申込あれ害なくして不思議に下る妙藥を入助けに御知らせ致します 大阪市外天王寺四九八 いづみ屋

くせ毛 縮れ毛 赤毛等にてお困りの方は二錢切手封入お申越しなさいませ生れ付のクセ毛でもわけなく治る誠によくきく私の實驗藥をお知らせ致す 東京上野池の端七軒町一 安瀬梅子

わきが にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方はファーザーを御用ひあれ 藥價卅錢六十錢一圓 京城黄金町三 電話二九四九 山田文殊堂藥房

小資本にて金儲け現る 新案登録器械にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械(五十臺限り壹割引)委細説明書にあり郵券二錢送れ 東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

▲美味なる▼ 虫下し最良藥 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

美味なる 虫下し最良藥 セメン菓子 さんとにねくねー 本舗 岩崎大海堂

主治 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱 夜なきの虫、乳あまし
効能 虫腹いたみ、疝熱の虫 虫胸あしく、勞熱の虫 虫せき、驚風の虫
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ ▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で甚よく常用と進物に妙です

胃腸最新藥 ヂゲスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許 胃腸疾患、食慾不進 重病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる 常用すれば血液を増し精力を盛んにす ◎説明書送呈 東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商店

鹽 官鹽食鹽販賣 製鹽物委託販賣 龍山製鹽所 龍山元町四丁目 電話龍山四〇七番

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるグンソ液 今東京で大評判の白美の元素色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際グンソ液本舗 松本藥店 小瓶二十錢 四十錢

實にも美しいと云はれる秋三月の
お化粧を遊ばすにはホーカー液を朝夕一二滴づゝお塗になれば目も覺る許り白きが内に薄紅と自然の色艶ある素化粧が出來ます

ホーカー液

いよ〳〵秋ともなれば東京の御婦人紳士方が爭ふて肌の素化粧遊ばす
宮内省御買上の光榮愈々深し

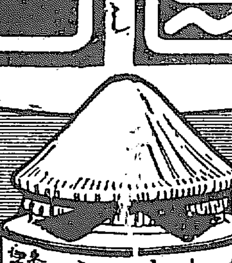
朝夕に。。湯上りに。。たつた一二滴の効果!
秋の日ヤケを防ぎ、色を白く、白粉の化粧榮を助ける

塗けると直ぐサラ〳〵と肌に乾いて匂ふ許り

定價 小 二十錢 中 四十錢 大 八十錢 送料 内地八錢 滿鮮卅錢

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー尖髪液 ホーカースポート
本舗 三越呉服店を始め全國到る處に販賣す 東京神田和泉町 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

御園白粉



御化粧料 御園白粉
平生缺かさず附けてさへ居れば、知らず知らずの間に今迄とは見違へる程
肌理を細く滑に 顔の色艶を増し 色を白く美しく
する特色がありますから、御園白粉を附けては、他の白粉は使ふ氣になれぬ、と何處の御婦人も常に有仰る御言葉です
御料御園白粉 本舗 伊東胡蝶園 發賣元 丸見屋商店
(178)

南行 北行 (列車時刻表)

第三版

京城日報

十五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金[illegible]
廣告料　[illegible]
印刷發行兼編輯人　奥田直毅　小川三之介
發行所　合資　京城日報社　京城太平通一丁目
電話番號　[illegible]

歐洲戰局

京城日報

最近羅馬尼[illegible]て、聯合軍に加はりし爲め、歐洲戰局に新面目を開きたるが如くなれども、羅馬尼を味方とするの眞價値は、其の獨墺の糧食、軍需品供給の一大根源を絶つにあり、其兵力の如きは、寧ろ第二の問題たり。

今年初より今日までの戰局を概括するときは、敵味方共に花々しく爭鬪し、獨墺二國の實力、猶ほ侮るべからざるものあることを知り得たれども、獨逸はヴエルダン要塞攻撃に多大の犧牲を供して、其目的を遂せず、今は大失敗の狀態に陷り、英佛軍は、其虚に乘じて、西部戰線に活躍し、今猶ほ其進取の勢を示すも[illegible]軍は、其トランシルヴァニアに兵を移して、伊太利を衝き、一たびは其威力を示したれども、これが爲めに露軍をして、ガリシアより席捲して至らしむ乃ち、獨軍ヴエルダン要塞攻撃と、墺洪軍の伊太利攻撃とは共に敵の大失策にして、其力を量らずして、其勢を驅るものは、常に此過を招かざるを得ず。

專門家の言に依れば、獨逸は既に自ら其力の足らざるを知り、務めに防守の形を整ふるに力む、其ヴエルダン攻撃を中止して退くこと、蓋し近きにあるべしと、或は又曰く露國戰線は冬期に入るときは、戰鬪休止の外なく今日の行動は則ち休止前の作業といふに過ぎず、獨軍は佛國戰線に於て守勢を取り、露國戰線の兵を用ふべからざるに至らば、必ずや轉じて、巴爾幹に[illegible]ふこと猶ほ客冬のごときものあるべしと或は然らむか。

近報希臘亦起ちて、聯合軍に加はるべきことを傳ふ、我味方として既に羅馬尼を得、更に希臘を加ふるを得るは、甚だ喜ぶべきなり、只此に注意すべきは、今後我敵が何地に向て、其力を傾注すべきかといふにあり、或ものは獨墺は依然佛軍戰線及び、對露戰線に死力を盡すべしと爲し、或ものは之に反して、我敵は此冬期を以て、巴爾幹及び伊太利に向ふべしと爲す、二者何れが當れりや未だ知るべからずと雖も、近報墺軍勃牙利軍相結びて羅馬尼の國境に入り其首都を衝くを以て目的と爲すと傳ふるものあり、羅馬尼は面積五萬三千方哩人口七百五十萬、其兵員は六十萬を得べしと稱す、巴爾幹にありては、相當の勢力なりと雖も、獨力もて墺勃の攻撃を受くるときは、其危險言ふべからざるものあり、露西亞にして極力之を援助するにあらざれば、回すべからざるの悔を招かむ。

三線聯絡運賃問題（四）

鐵道局和田參事口述概要

三、本制度反對論の當否

經濟研究會に於ける

又曰く、該制度の實施せらるゝに於ては、爲に南滿鐵道は年額百萬圓以上の收入を減じ、幾千萬圓の投資は遂に無用に歸すべく、大連亦衰運に向ふを免れずと

南滿鐵道の收入に多少の影響を來すべきは免れざるべきも、距離比例の制度に依り、今日直に其の減收百萬圓に達すべしと謂ふが如きは、汽船運賃の高低及兩線の設備等を全然無視したる推定にして、事實に於ては其の十分の一にだも達することなかるべし。又巨萬の資を投じたる設備は一朝にして其の用を失ふに至るべしと唱ふるも、此の筆法を以てすれば海港運賃は幾億圓を投じたる安奉線及朝鮮鐵道の設備を無用に歸せしむと謂ふべく、曩に述べたるが如く、日滿又は日歐の陸路交通は、安奉線經由を幹線とすべきものにして、大連は寧ろ海路支那及び南洋各港、進むでは歐米各港との世界的貿易に對して努力すべき使命を有するものにして、現在の設備も亦此の目的に使用すべく、大連亦決して衰退すべき運命を有するものに在らずと信ず。然れども差當り今日に於ては從來大連を經由したる貨物中、安東關稅減額の結果其經路を安奉線に轉じたるものあり。又運賃の如何に依りては油房の如きも多少閑散を來すこと之れあるべしと雖も、大連に於ける數十の油房中、日本人の經營に係るものは其の一小部分に過ぎず。殊に工場に最も必要なる石炭及び水の高價なる大連は、果して工業地として適當なるや否疑なき能はず。現に內地に於て諸所に油房の新設を見るは、其の大連に優るが故にして、要するに本論は一會社一地方の問題に過ぎず。大連にストックを置かざるべからずと謂ふ如きも亦同じ。新に交通經路の設定せられたる場合に於て部分的に多少の損害を生ずるは全體の利益に對する犧牲として已むを得ざる處に屬すべし

又或は曰く、**國防上の見地より**するも、大連經路を主とせざるべからず。蓋し朝鮮經路は單線にして大連奉天間は複線なり、殊に大戰役の輸送は海路に依るの外なきを以て、國防上よりするも本經路の設備を完全にすべきものなりと

此の點に就ては軍事當局者の意見を徵するの外なきも、輸送力の關係よりすれば、內地大連間は內地朝鮮間の輸送に比し約二倍の日數を要し、從つて輸送力半減せらるゝを以て、船舶の供給不充分なる我國に於ては是非共所要日數の僅少なる經路に依らざるべからず。殊に長途の海運は諸種の危險を伴ふを免れざるを以て、此の點よりするも朝鮮經路を有利なりとすべし。而して近時此の議論の有力となるや、日露兩國は最近最も親善の關係を保持するを以て、國防の點に於て重きを置くの必要なしと論ずるものありと雖も、國際關係に於て實力なき平和は平和に非ずして屈服なり。西比利亞線の複線將に完成せむとする今日に於ては、我國亦對等の設備を要すること論を俟たざるべし。又假に國防上安奉線及び朝鮮線の輸送力を增加するの必要ありとするも平素より其の輸送を充實せしむるの必要なしと謂ふ者あるも、平素徒に無用の人員を增設し、必要なき輸轉材料を倉庫に死藏する如きは、實際上爲し得べからざる處にして、今日に於ては各國共に斯の如き方法を採用するものなし

要之、朝鮮經路の利便を廣く利用しむるの必要より見るも、輸入貿易經濟の目的よりするも、亦西比利亞線との對抗上よりするも、將又國防上の見地よりするも、現行の偏重的運賃制度を打破して、朝鮮經路の利用を增進するの必要なること論を俟たず。今春の東京會議に於ては結局鐵道院に於ても距離比例制の運賃を原則とすることを認め、只滿洲の經濟界に急激の變化を與へ、又南滿鐵道の收入に著しき打擊を加ふる如き結果は、之を除外することに協定せられ、來る十一月より實施すべきことゝなり居れり。（完）

放浪漫記

九月一日上海に於て　大谷光瑞

八月廿一日シンガポール出發、北上するに從ひ、偏南風漸く强く、暑氣增進し、特に風速船速と等しき爲め、船中は無風となり、煤煙は直條に昇騰し、苦熱煩襟堪へ難し。此氣節は支那海一帶大風を起す虞れあるを以て非常に憂慮致候へ共幸ひに更に其の兆を見ず、無事平穩の航海を持續し二十六日香港に到着致候。支那海に於て現時最不便を感ずるは、我が無線電信局の臺灣南岬に存在せざる一事なり。無線電信は海上に於ては、原則として最近の陸上無線電信局と交通すべき者なれば、支那海に於ては、南方に在てはシンガポール、中部に在てはサンチャック、北部に在ては香港、廣東、河內等なり。北部に於て我船舶より電報を發せんとするや多くは本邦に向ふを以て、マニラ、香港廣東、河內の四局中を撰定し、送信すと雖も、廣東は近時多く受信せず、マニラ、河內を經由せんとすれば、料金の加重せらるゝにより、一般に香港を中繼とせり。然るに開戰以來普通英文の外、日本文を用ゆるを嚴禁し、爲に英文に熟せざる本邦人の旅客は、信文を作成するに甚しき苦痛を感ぜり。廣東は支那政府が官立なるを以て、日本文（羅馬字綴）を用ゆるを許容すと雖も、現時は是を呼ぶも應せず。近時日本船舶の支那海を航する者漸次增加すると共に、此の困難は增々加はり、永く不便を忍ばざるべからず。然るに今臺灣南岬に無線電信局を增設せんか、シンガポールに到る船舶に對しては、香港局より近距離に在るを以て、最近距離の原則に反せずして、邦文の通信を得べく、本邦人の旅客の便利に至ては云ふべからざるものあり。聞く所に依れば臺灣總督府下に於ける無線電信局は、總督府の經濟により設置せらると云ふ。小生は其財源の乏しきよりするを知らざるも、不便を感ずるものは、日本帝國の臣民なり、便利を感ずるものも、日本帝國の臣民なり、豈母國と新領土の別あらんや、幸ひに明年度の豫算中に編入し、急速新設の計畫あらん事を翹望に堪へず（未完）

日報詩壇

○江亭卽事　　望月　桂軒
江亭把扇對蒼茫。陽柳風搖氣爽涼。忽見漁舟起湖浦。縱橫飛躍憶周郎。
評曰　又是好詩匠

○松陰讀書　　西田　自陰
昔人教我惜三餘。松下悠閑讀舊書。[illegible]
評曰　眞是風俗之作

○聽瀑圖　　園山　牧雲
[illegible]飛三伏雪。千尺挂危崖。太白詠歌處。涼風吹我懷。
評曰　音調蒼勁

○涼棚話月　　古城　梅溪
涼棚高架大江灣。咫尺瑤臺在欲攀。無盤天似水。桂花香逆酒杯間。
評曰　吟魂縹緲

○夏夜漫興　　本田　芳洲
水竹半分半畝庭。天無月夕放[illegible]。[illegible]飛散追風來。萬點涼光亂似星。
評曰　詞亦生奇彩

日報歌壇

[illegible]（京城）
靜かなる朝の榮かも大空に光を投げて湧みの陽上る
物凡て我足下にひれ伏せる驕り心に朝の空ゆく
あるときは心の中に國を礎き王者となりて一日を過す
大いなる怒濤の前に我立ちて只わけもなく泣きにけるかな
我心歎き難くあるときは神のみ名をと呼びてけるかな

鈴木古都子（京城）
美くしくゆれ舞へ妹其のかみの亡母が愛でにしかなしみの熊野
しろがねと金の雲まふ舞扇さとひろげにし小さき指かな
初春の宴の卓の蕾に似て我が明けの朝顏ひらく
あか／＼と去ぬ日に向ひ向日葵は何か呪咀せり此の大御代に
或る時は名なし草など自らを殊さめきしはかな事かな
どくだみの草にまぢりて向日葵は酷むきて有り晩夏の入陽
獄卒が我がふる事に纏あてぬ其のひときさへいと心地よく
わが庭の雜草の中よりましろなる桔梗一もと尼めきてたつ

仁川米豆取引所

▲十四日前場　[illegible]
▲十四日後場　▲兵庫後寄十四圓四十三錢、東京十四圓八十錢大阪前止十四圓[illegible]錢後寄五十四錢の大[illegible]にて當中出來不申先十二圓二六十二錢と[illegible]
[illegible]
▲[illegible]大に買る　[illegible]ありたる[illegible]市場の注目を惹起したり　[illegible]一面六千餘石の買ありた
▲[illegible]能く買ふ　[illegible]同店より買たる[illegible]六千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたるが四節に至り四千餘石の賣りあり
▲[illegible]の商內　[illegible]玉數六千餘石賣たる[illegible]數四千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり
▲現物界　[illegible]日の出摺賣米十三圓[illegible]
（寄付）　十四日の十一月限　十三圓二十五錢　十二圓二十一錢
九月限　一萬石
十月限　一萬七百五十石
十一月限　十二萬百石

一石炭（切込炭）五拾萬斤
右購買ス詳細ハ九月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

株式名義書換停止公告
來ル十月一日ヨリ定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス
右定款第十八條ニ據リ及公告候也
大正五年九月
朝鮮郵船株式會社

新刊書御案內

書名	著者	定價
眞宗全史	村上專精	三、〇〇
[illegible]日記及消息	[illegible]	一、五〇
南進策と小笠原群島	山田毅一	一、五〇
時は過ぎゆく	田山花袋	一、二〇
[illegible]自由寶典	富士川春也	五〇
日本住宅と諸什器取扱法	杉本文太郎	二、〇〇
漢文譯	山岸輯光	六五
成金物語	千原伊之吉	一、四〇
株式問語	五十嵐力	一、二〇
夜の露壺	竹久夢二	九五
坐禪指南	芦津實全師	八〇
啄木歌集	石川啄木	七〇
男讀むべからず	丹いね子	七五
[illegible]ニコ〳〵大會	河野[illegible]	四〇
大ナポレオン	安東[illegible]	六〇
雜音の中	中村星湖	六〇
[illegible]の解き方	[illegible]	五〇
[illegible]十五少年物語	[illegible]	五八
[illegible]法律講義	[illegible]	特七五
同　法律問答	同	四〇
同　朝鮮行政法規大意	[illegible]	四〇
同　會話譯文速成	同	四〇
同　作文軌範	同	四〇

大阪屋號書店　京城本町　電六八四・二〇八六　振替京城二五七三

各種染料
地方より御注文は各洋行品御希望の通買次可致候
染料商　豊　後藤藏商店
京城長谷川町五十八　電話二一八番

品質の優秀は
酪酒
宮內省御用酒醸造元　攝津灘新庄家　若林合名會社
絕對の信用を博し
最後の勝利を獲得す
特約店　京城本町三丁目　山本富之助商店　電話五七五番

開店御披露
硬質陶器一切
今般左記に於て開店仕り候に就ては披露の爲め此際二割引にて商品提供仕り候間多少に不拘御注文被下度願上候
京城明治町二丁目四八　川口商會

有樂館と景品

入場券　二等廿錢　三等十錢

浪界の麒麟兒吉田浪子は來る十五日より有樂館に現はれ活動寫眞の幕合に
義士傳を語る事となれり

二等に　朝日又はしらぎ一包
三等に　百圓又はバナナ一包

右記賣店にて入場券御需の方は各等共　御土産を進呈す
黃金館入場券は從前の通り販賣致します

京城旭町一丁目の出場入口　小寺商店
京城明治町二丁目　新屋商店
京城本町二丁目　吉尾商店
京城米倉町　梁文煥
京城黃金町三丁目　播商店
京城本町三丁目　前川商店
東亞煙草株式會社

巖谷小波先生監修

特別附錄　子供の一日
幼年畫報
（外に、小波先生御前口演のお伽噺「水地獄」を四頁續きの繪物語にしたのが大評判）
大改良の十月號　定價各金十二錢　郵稅一錢
東京本町　博文館
小波お伽噺　大蛸退治
幼年世界
（口繪も寫眞も一層賑かとなり幼年冒險○理科歷史談○幼年小說などいづれも皆面白い）

京日案內
普通　一回前金[illegible]　番外　[illegible]
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◉但馬特產柳行李　京城本町三丁目但馬屋　295
◉古本賣買　大勉强誠實に取扱致します　新町山[illegible]通六番地元町　北村商店
◉恩給年金低利即時立替　江州屋龍山支店　232
▼幼年畫報類　新本月後れの品切れの處　新寫眞[illegible]　165
京城本町　電二五二七　[illegible]書店
◉店員入用　年齡十六歲以上市內確實なる保證人二名を要す　蓬萊町四　三巴酒造場　電話一〇六七　282
◉男女外勤社員募集　希望者は每日午後來店の事　京城太平通二丁目三二六　電話二八三二　商業銀行債券部　223
看護婦數名至急募集す　履歷書携帶來院の事　黃金町二丁目　朝鮮實費診療病院　225
◉朝鮮人文撰工二名入用　京城旭町二丁目　中島印刷所　220
◉松汀里光州間自動車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す　▲光州加藤自動車運輸部
外務員入用　自午後四時至六時要來談　若草町二八八　文潮堂　205
古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　163

番外
勸業債券高價買入致します　地方は書留郵送次第代金差上ます　京城長谷川町五八（朝鮮銀行裏）　日本勸業銀行債券販賣所　238
ひどい痔ぎんな梅毒でも僅の日數で要て根を切る秘密療法及製法傳授　賣藥又商人に非ず　已も助人も[illegible]　鐵海苗砂町四　野見山　231
英語聖書研究會　西小門通ミスミ宅に於て九月十六日午後八時より開始す入會を歡迎す入會者は名刺持參の事入口は芳賀博士門向　234
◉外交員募集　男女各二人報酬は成功報酬詳細面談　日本生命保險株式會社京城代理店　218
◉京城春川間行自動車貨金片道四圓　京城春川間每日午前八時出發　◉南大門通一丁目　廣橋自動車　電話二一九番　主務　[illegible]　105
病人用輸送車　新京城總督府醫院前　電話二一五八〇番　96
總督府醫院御用　山口組
恩給年金低利直立替　▲極秘長期融通　▲商品陳列館前　京城永樂町　江州屋本店　189
恩給年金立替　一利月一歩　並諸公債株券取引　櫻井町大正館向　博多屋本店　148
礦物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）　坂元分拆所　電話一三四四番　185
恩給年金料立替　短期無保證利壹步武厘五毛　京城武橋町三三番地日報社北方一丁　國江商會　200
京城春川間乘合自動車　◉京城發前九時　京城水標橋通り電話貳壹參八番　◉春川發前七時　京春自動車商會　支配人　松川壽州　202
外勤員採用　每日午前來談　有官吏を望む
八千代生命保險　京城支社　永樂町二ノ七六　電話一一三　216

◎第三回談判は兩三日後

陳錦濤氏も歸京したれば鄭家屯事件に就き林公使は第三回談判開始を外交部に催促せるも彼よりは猶期日を申來らず察するに交渉は猶兩三日後なるべし支那側は我が報告の事實を承認せざる模樣なれば次回の談判も主として此の點に就きての討議なるべし(北京特電)

◎憲法會議
審査會に附せん

十三日憲法會議にて憲法草案第一讀會終了せり次で商國民黨議員は右の草案を兩院の全員合併會議の審査に附すべしと主張し反對派は新たに修正會を組織すべしと唱へ激論して議場大に亂れたるが採決の結果前説多數にて審査會に附する事となれり(北京特電)

◎馬賊討伐
支那軍の自由に任す

蒙軍と共に在りし馬賊に對し關東都督府は支那軍の自由討伐を許し其の者に遁れて我が交戰禁止區域内に入る者には皆其の武裝を解除せしめつゝあり(奉天特電)

◎蒙軍退却
辛うじて支那軍の重圍を脱す

蒙古軍は支那軍の三方包圍中に在るも張督軍は彼等を殲滅するの意志なく一方の血路を開きあるより蒙古軍は辛うじて重圍を脱し退却しつゝあり(奉天特電)

◎英艇米船臨檢事件
比律賓海にてセブ號に對し

華盛頓來電に曰く、比律賓諸島領海内に於て英國水雷艇が米國汽船セブ號に停船を命じ之を臨檢したりとの報道ありたるを以て駐米英國大使サー、セシル、スプリングライス氏は本國政府に打電して右に關する報告を求めたるが在華盛頓英國大使館員の意見に據れば右はセブ號船長が事件の報告を誤り其の誤報が其の儘比律賓總督ハリソン氏に依りて米國政府に傳へられたるものなるべしと(紐育電報)

◎獨帝勃國王と會す

伯林來電に曰く、獨帝は東部大本營にて勃國王と會見しつゝあり双方外相並に盟邦代表者等も列席し居れり(紐育電報)

◎英陸相のヴエルダン訪問
佛國民に對する稱讃の辭

英國陸相ロイド、ジョーヂ氏は二十二日佛國軍需大臣トーマス氏に導かれてヴエルダン市街を訪問しデユボア將軍と午餐を共にせりデユボア將軍はロイド、ジョーヂ氏がヴエルダンの守備に任じつゝあるを親しく訪問せられしを光榮とすとて感謝の辭を述べたるが英國陸相は之に酬ひて曰く佛國の歷史を飾る武勳は數多けれども史上の傳ふる所は佛國々民及び其の軍隊が最も優越せる素質を有せりてふ事實を證據立てたる目前の事實に如かず佛國民の勇敢と執著心とは全世界の欽歎を買ふに充分なり而して夫等の氣象は冷靜と不屈の精神の加はる事に依りて一層其の權威を大ならしむ佛國民は決して英國民の冷靜なる國民性を羨むの必要なしヴエルダン要塞防禦の大勝利は永く千載の後に傳はりて不朽不磨の史跡たるべし如何となれば佛國は此の勝利に依りて啻に祖國を救へるのみならず吾人の協同目的と人道主義をも等しく擁護したればなり諸君は實に世界を襲へる大暴風雨に打ち勝ちたるものと稱すべし余自身に就て云へば余は此の神聖なる血を踏みて感慨の甚だ深きものあるを感ず余は英國民を代表して茲に賞讃の辭を捧ぐ英國民は余と共に更めて諸君の殊勳と諸君の擁へる犧牲の前に敬意を表明するものなりと(巴里特電)

◎佛軍の向ふ所敵無し
驚く可き攻擊運動の進展速力

巴里電=十二日午後發表の公報に曰く、佛軍は白晝コムブルとソンムの間六基米突の戰線に亙り猛烈なる攻擊を行ひたるが其の攻擊運動は驚く可き速力にて進展し獨軍の第一線全部は三十分ならずして略取し盡せり佛軍は續いて向ふ所敵なく二四五高地マリエール森林及びバボーム、ペロンヌ道路に至る敵の塹壕全部を奪取したり

◎佛塞軍捷

雅典來電に曰く、佛塞兩軍はマセドニアの兩端に於て攻勢をとりボロビツ、を占領したり(紐育電報)

◎逆襲失敗
ソンム方面の敵

ソンム方面の形勢は稍沈滯の狀を呈せるが最近二十四時間内に於て敵は我が新陣地に對して行ひ來れる逆襲に失敗して多大の損害を被れり(巴里電報)

□還幸仰出

日光田母澤御用邸に御避暑中の天皇皇后兩陛下には來る十八日午前七時四十分日光驛御發車東京に還幸啓遊ばさるべき旨仰出されたり(東京特電)

◎ソンム戰勝

巴里來電に曰く、佛軍はソンム地方に於けるホーチャベンスの村落を占領せり(紐育電報)

◎福田警視陞敍

朝鮮總督府警視福田順裕氏病氣危篤の趣 天聽に達し十四日左の御沙汰ありたり(東京特電)

陞敍正七位 從七位勳六等 福田順裕

◎松方侯歸京

西那須の別莊に避暑中なりし松方侯は十四日午後四時上野驛著列車にて歸京せり(東京特電)

◎鮮内勞働賃銀低落の傾向
財界の不振と戰亂の影響=六箇年間の比較對照=内鮮人の高低差額=一時的變態漸次革る

大正四年中に於ける各道主要地の勞働賃銀は春來財界の不振に加ふるに歐洲戰亂の爲め一般工業原料の暴騰したると客年來の米價暴落等の結果は同業界の不況となり憖いて職工勞役者の要需漸次分減退し其の賃銀に多少の影響を齎らしたり、今主なる職業に就き既往六箇年間の賃銀を比較對照するに其の年の經濟界一般の狀況並に事業の繁閑等に依り差異あるを以て一概に律す可からざるものありと雖も大體に於て年々

▲低落の傾向 を示しつゝありと謂ふを得可し、而して内地に於ける賃銀が逐年昂騰の趨勢を呈し居れるに反し却つて反對の現象を見るは朝鮮に於ける從來の賃銀が全く一時的の變態にして各種の施設經營其の步を進むるに從ひ漸次需給調節し其の常態を顯出するに至れるものなり、尚ほ内鮮兩地に於ける賃銀を比較するに内地人に於て平均約七割高なり、又た朝鮮に於ける内鮮人に就て見るに朝鮮人の賃銀は内地人の五割乃至七割に當れり、斯の如く著しき懸隔あるは主として勞力を得るの難易技術の適否勞働效率の差異並に生活程度の高低等に基くものなりと雖も朝鮮人

▲勞働の效率 が内地人に比し劣れりと稱せらるゝは全く先天的のものにあらざること明にして既に特種頭腦の活用を要せざる機械的或は分業的作業に於ては内地人と殆ど徑庭なき能力を認めらるゝを以て鮮人間教育の普及智能の啓發に伴ひ勞働效率の增加を見るべきに依り朝鮮人賃銀の低廉なるは將來生産企業上に便益を與ふる處少からざる可しと雖も之を要するに職工勞役者の生活必須品たる米價は内地に比し低廉にして其の他被服等の資料も内地と其の物價平衡に近づきつゝありて一般に生活容易なる爲め内地人勞役者の增加と相俟ちて勞銀の低落は當然の事象なり、唯だ家作大工左官瓦葺鍛冶等の如き屋外勞役に付ては氣候の關係上冬期三四箇月休業の止むを得ざるものあるにより一般に高率なるは免れざる處に屬す、今既往六箇年間に於ける主要勞銀を對照すれば左の如し

主要賃銀累計比較表

其の一

年次	家作大工 日人	家作大工 鮮人	指物大工 日人	指物大工 鮮人	左官 日人	左官 鮮人	石工 日人	石工 鮮人
四十三年	一、五三	九四	一、七七	八〇	一、六〇	九六	一、九九	九九
四十四年	一、五三	七七	一、七七	九九	一、九九	八〇	一、九三	九三
元年	一、五四	八五	一、七七	九九	一、八二	九九	一、八五	八四
二年	一、四七	八五	一、三二	九九	一、五四	七八	一、八二	八六
三年	一、四六	八〇	一、三四	七四	一、五五	七三	一、七六	七七
四年	一、四四	七八	一、四七	七三	一、五五	七三	一、七六	八六
内地勞銀	八六	—	—	—	八〇	—	九九	—

其の二

年次	木挽 日人	木挽 鮮人	屋根葺 日人	屋根葺 鮮人	ペンキ職 日人	ペンキ職 鮮人	疊刺 日人	疊刺 鮮人
四十三年	一、四四	七六	一、七七	七五	一、四四	八六	一、四四	—
四十四年	一、七八	七三	一、七〇	七四	一、四四	七八	一、七七	—
元年	一、六二	七七	一、四四	六六	一、二二	七六	一、五五	—
二年	一、七八	七七	一、九九	七二	一、七七	七六	一、四二	—
三年	一、九六	七六	一、四五	七七	一、五二	六六	一、四四	—
四年	一、七四	七六	一、四四	六六	一、六六	七五	一、四二	—
内地勞銀	一、〇一	—	八〇	—	七六	—	一、一四	—

其の三

年次	瓦葺 日人	瓦葺 鮮人	煉瓦職 日人	煉瓦職 鮮人	表具師 日人	表具師 鮮人	鍛冶職 日人	鍛冶職 鮮人
四十三年	一、六六	九八	一、八三	八六	一、四二	六八	一、四三	八三
四十四年	一、五九	八三	一、六六	七三	一、三二	六七	一、三二	八三
元年	一、五九	九六	一、八二	八四	一、四一	七二	一、五一	八〇
二年	一、五三	八四	一、七七	九三	一、四一	九九	一、四〇	七九
三年	一、五五	八三	一、六六	六四	一、四六	七六	一、四六	七七
四年	一、四四	七七	一、六六	七二	一、四二	七七	一、七七	七七
内地賃銀	一、〇〇	—	一、〇五	—	七六	—	七四	—

其の四

年次	金銀細工 日人	金銀細工 鮮人	染物職 日人	染物職 鮮人	洋服縫 日人	洋服縫 鮮人	靴工 日人	靴工 鮮人
四十三年	一、六五	八〇	一、五六	七二	一、三五	七二	一、九九	七七
四十四年	一、六二	八四	一、三二	六六	一、三四	八九	一、九九	七七
元年	一、七七	八〇	一、五四	六六	一、一七	七六	一、七七	八〇
二年	一、五六	八〇	一、三四	六六	一、三二	七二	一、二二	八〇
三年	一、五六	八〇	一、三四	八四	一、四一	七三	一、二三	七七
四年	一、六六	七六	一、六六	七六	一、四〇	七七	一、三三	七七
内地賃銀	九九	—	一、五〇	—	八四	—	七二	—

其の五

年次	農作人夫 日人	農作人夫 鮮人	人足 日人	人足 鮮人	下男 日人	下男 鮮人	下女 日人	下女 鮮人
四十三年	五二	三三	六一	四二	四、二〇	三、五〇	三、九九	二、三三
四十四年	八〇	四三	八〇	四〇	五、七九	四、〇〇	六、〇四	二、五五
元年	七七	三三	八四	四四	四、八四	四、二三	四、五五	二、七七
二年	七七	三三	八〇	四三	六、八〇	四、六七	五、五五	二、一〇
三年	七七	四〇	七七	四〇	七、七四	四、四三	五、三三	二、一〇
四年	七六	三六	七七	三九	六、八〇	三、三七	五、五一	一、七七
内地賃銀	四七	—	九五	—	四、四〇	—	三、九五	—

◎宮殿下
▲新義州御著發 道露宮殿下御一行

閑院宮殿下には十四日午後五時四十五分新義州驛御安著川上道長官小野警務部長を始め各官衙判任官以上在鄕軍人學校組合議員府協議會員赤十字社愛國婦人會員學校生徒等の奉迎を受けさせられ同五十分同じく盛大なる奉送裡に御發車安東に向けせらる(新義州電報)

▲安東縣御通過

閑院宮殿下には内山陸軍大將以下隨員及び朝鮮より扈從せる山縣政務總監、秋山軍司令官、大屋鐵道局長官、古海警務總長等を隨へさせられ安東驛著御機嫌麗はしく堵列奉迎せる官民各團體に車中より御會釋を賜はりて北行遊ばされたり當地迄御出迎せる中村關東都督佐藤警視總長中村滿鐵總裁等は長春迄奉送せり(安東特電)

▲奉送諸官動靜

閑院宮殿下に扈從奉送し來れる山縣政務總監、秋山軍司令官、大屋鐵道局長官、古海警務總長等は十四日夜新義州鐵道ホテルに投宿秋山司令官の外は總て十五日朝同地發歸京の筈なり(安東縣特電)

▲宮殿下と滿洲

閑院宮殿下の滿洲御通過は時節柄特に警戒を嚴にし御發著時間等は一切之を發表せず(奉天特電)

◎不服申立裁定
高等土地調査委員會の進捗

土地調査局長のなせる土地境界所有權の査定に不服を唱へ其の裁定を高等土地調査委員會に申告せし件數の累計は最近の所九千七百件の多きに達し居れるが總督府にて毎週三回宛開會せらるゝ高等土地調査委員會の裁決二千餘件并に取下げの爲め解決せし分三千餘件合計約五千七百件に上りしに付目下未決の儘殘り居るは約四千件なるが元來査定不服の申告は南鮮方面に多く然も土地調査は既に南方を殆んど終りたれば今後の申告數は漸減し來るべし

◎關屋局長消息

關屋學務局長は目下兵庫縣住吉村九郎左衛門新田三五三ノ一に滯在靜養中なるが豫後の經過頗る良好にして昨今にては一見發病以前と異る處なき程に回復したりと某所に消息ありたり

◎三宅博士入京

總督府囑託三宅理學博士は過般來鮮開城に於ける參圖視察中なりしが十四日入京治洞一二德富氏邸に滯在十六日朝南大門驛發歸東すべし

◎郡參事諮問會

京畿道郡參事諮問會は十五日午前開城郡廳に於て開會開城、長湍、坡州の三郡より郡參事出席する由にて道よりは松長官及事務官出席すべしと

◎農會員農事視察

京畿道抱川郡農事獎勵會員にては十五、十六の兩日水原模範場を視察する筈にて内鮮人會員約七十名なりと

◎工藤事務官視察

咸北道管内に於ける土地調査狀況視察の爲め出張中の土地調査局工藤事務官は十五六日頃歸京の筈也

◎受渡米の品質
仁川米穀市場の問題

仁川取引所に於ける八月限りの受渡米は甚高二萬三百石に上りたるが之れを七月限りの五萬八千石に比較すれば其の央ばにも達せざれど亦々十月限の如き狀況を呈すべきかと稱せられ居れり而して二萬餘石の受渡米は本月一日在庫品調査あり翌二日より當業者間に受渡し開始されたれど同日より降り始めし雨の爲め久しく受渡し不能の有樣にて十日迄に延し其後天候舊に復すると同時に再び受渡し開始十三日迄に全量の三分一程引渡され殘米引渡米も遠からず圓滿に引渡し完了せんかなれど此受渡米は全鮮各道にて檢査せる物多數あり中には品質殆んど不合格に等しき品もある爲め受渡當業者間に紛議起りたるも一般仲買店にて一時右の解決を預かる樣子なるも各道檢査なる爲め最後の受渡しに於て圓滿に事件落著するや否やと一般斯業者間に觀測され居れり(仁川)

◎中村組の增資

鎭南浦の合資會社中村組は今回從來の資本金十萬圓を三百萬圓に增資し株式組織に改めたるが株式は一般に公募等の事をなさずと

◎仁川置籍船

東京に在住する北海道材木業者にて成功せる人々の醵資になる稲川林業株式會社にては船舶部を設くる事となり既に諸種の準備整ひ同會社支配人時崎八郎氏同部の主任となり居るが不日來仁す可同氏來仁の要件は同會社に今回購入せる三千噸級の汽船一隻あるを以て當地に船籍を置く可く其手續の爲め來仁する者なるが追ては當港を起點として八方へ航運業開始するに至る可しと云ふが代理店などは同氏來仁の上決定さる可く各商店との交渉もある事とて未だ決定するに至らざるなりと云ふが近年次第に船主等が内地或は滿洲より其船籍を朝鮮に移さんとするは好傾向と謂可し(仁川)

人事消息

▲野口榮二氏(臺灣水產重役) 十四日夜入港[illegible]へ

▲林繁之助氏(同) 同上

南吉北語

丁抹が西印度三島を今度米國へ賣却することになつたのは獨逸から中立違反の廉で八千萬クロネルを捲き上げられた穴埋めだと云ふ說が專ら傳へられて居ると云ふ▲八千萬クロネルなら日本で凡そ四千三百萬餘圓だから論なく之れ丈け不意打に引き拔かれては丁抹も大に面喰つたに相違ないが其の總締は斯ふである▲獨逸は前々から英國潛航艇の爲にスカンヂナビヤ貿易を妨害されるのに業を煮やし▲此奴は適切丁抹が英船を手曳して居るに相違ないと睨んだので一策を考へ出し▲英艇に僞裝して丁抹の海岸砲臺附近に現はし▲一隻の獨逸潛航艇はすつくり英艇に扮し▲領海通過の許可を求めさしめると豫期の通りオーライと來た▲其處で直に有無を言はさず丁抹の尻尾を捉まへて早速中立違反で八千萬クロネルを吐き出させた處は何處迄も獨逸流の辛辣だ▲伊豆長岡の犬養木堂君の別莊は俗に二升庵と呼んで居る▲之は一箇年の地代が驚く勿れ米二升宛の約束だから其の名が出た相な▲處が一軒措て隣に田中光顯伯の別莊が出來昨今伯は二人の妾を携へて來て毎日釣漁などして遊んで居るので▲近所では木堂君の二升庵に對して二妾庵と呼んで居る▲惡戲好きの某氏が木堂への端書に殊更二升庵を二妾庵と書いて出した▲木堂君は宛名が違ふからと受け付けなかつた▲すると郵便屋サンは氣を利して田中伯の方へ持つて行くと▲伯傳怒るまい事かプツブ云つて其儘突き返したので端書は附箋附で元の差出人に舞戻つた▲とはお節介な話だが田中伯と木堂君との對照だから面白いではないか。

◎本月上旬氣象

仁川觀測所に就て本月上旬の氣象概況を聞くに本旬は本年中[illegible]び黄河流域より來たる低氣壓の朝鮮を通過するありて一般に陰雲の日多く各地に再三降雨を催し殊に九日八日東部地方[illegible]異常の豪雨を見たりし[illegible]中部は二十九度内外に昇り又最低氣温も南部[illegible]十度内外中部は十七度内外にて平年に比し低温にはあらざりしも北部の國境地方に於ては十度[illegible]平年量を著しく超過せるが北部は四◎耗乃至八◎耗にて平年と大差なし主なる地方[illegible]に於ける氣温雨量等を列記すれば[illegible]

[illegible]

◎[illegible]

[illegible]一叺此石數百六十二石五斗にて之れを七八の兩月に比すれば非常に相違する所あり即ち七月八萬千六百八十九叺八月四萬八[illegible]五十八叺二[illegible]第なるが先月末に於ける受渡米のみにて約二萬三千石程の物ありしを見ても或は中旬に於ける廻著米も上旬に比し多額に上る事あらざる可しと[illegible]

◎清津先月貿易

八月清津港輸移出入貿易額は輸移出八千五百七[illegible]年沿岸貿易は移入十五萬一千九百七十七圓移出十六萬一千二百八十七圓計三十一萬三千一百六十四圓にして[illegible]

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品

糖化力最強にして效力常に一定す

發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衞 大阪平野町二 岸田市兵衞 東京本町四 田邊元三郎

創業文化元年 各種京染元

大正五年中に御注文の御方に對し記念として(京都名所の優美なる三色入繪はがき五枚一組)を無代進呈仕候◎地方よりの御注文に至極便利なる京染之栞(見本付)無代進呈

京都市蛸藥師通新町西入 上村德次郎京染店 電話中弐九參九番 振替大阪壹貳八貳七

蟲干後の護衛兵へ

せめて一小隊位は御用意あれ

定價 大形 金拾三錢 中形 金七錢 小形 碁石形 大鑵 小鑵 金五拾錢 金十錢

全國藥店にあり

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

一簿記募集 本科生 速成生 研究生 校外生

私立 認可 日本簿記專修學校 東京芝區愛宕町十一番地

日韓書房 新版報告

增補縮刷 日記及消息 定價同三十錢 送料十二錢

朝鮮總督府 普通文官 見習雇員 試驗問題及答解 定價六十錢 送料六錢

森田幸次郎著 常識養成 碁道大觀 定價一圓 送料十八錢

片山正雄著 獨逸文法辭典 定價同 送料十四錢

佛國ア少佐著 獨逸の膨脹 定價同 送料十二錢

京城本町二丁目 電話一五二一 振替口座四五一

巡査養成講義

巡査は内地臺灣朝鮮外國に就職… 臨坂町二六

發賣元 帝國蓄音機商會

(正價半値段) ◎大聲蓄音器大景品附五割引大賣出し

正價十七圓 金八圓五十錢 景品 大景品

…に小笠原島方面より襲來せる低氣壓の部内にありたれど…好晴なりしが三日以後大…氣…を呈し屢々支那中部及…

…氣温は本旬に入りたれど尚元山地方及び南鮮地方に於ては最高氣温三十度以上に達せる所あり

雨量は依然中部以南に多くして概ね一五〇粍を超ゆ殊に京城及び釜山附近は共に三〇〇粍以上に上り何れも…

切手の物語

▽有價證券の ▽代用になる

私立京城幼稚園京口女史の子息京口一郎氏は郵便切手の蒐集に浮身を窶して居られるほどで既に手許に集めた内外新古の郵便切手は無慮數萬千餘種に上つて居る

切手の趣味は日本人の間にはまださればどの熱度に達しては居らぬが

◆外國人の間 には非常なもので之れが爲めに切手商會が各國ともに澤山に有つて中には何百萬と云ふ資本を投じて盛んに事業を經營して居る向きも尠くなく、今では切手は一種の有價證券のやうなもので一度買入れたものも嫌やに成れば此の商會の手を經て賣却する事が能きる、のみならず買つた時には一枚一圓のものが一二年乃至十數年後には十圓にも二十圓にも成つて居るやうな事がある、とに角

◆古くなれば 成るほど數も少くなり從つて價も高くなるから切手の買入れは比較的確い商買となつて居る、であるから切手商會では時々カタログや廣告を發行して「此の際投資して買はれると非常に利益があります」と云ふ樣な事を記して有る、これは商人の方面ばかり見た話であるが道樂に切手を集める人の方から云ふと珍らしい切手が一度手に這入つたらもうそれが

◆買つた時の 十倍に成らうが百倍に成らうが却々手放すやうな事は爲ない、さうして世界に何枚と云ふやうな切手になると相場は五萬圓とか八萬圓とか云ふけれど實際の取引は先づ絕無と云つても好い位である、又外國には切手に關する專門の著書や機關雜誌が汗牛充棟もたゞならぬほど發行されて居る、京口氏の家では亡くなられたお父樣が既に非常に

◆郵便切手に 趣味を持つて居つて其の當時から蒐集に著手して居つたと云ふから、云はゞ二代掛りで蒐めた切手であるから隨つて其の種類も頗る豐富であつて内外各國の記念切手は元より明治四年初めて發行されたミシン入らずの二百文など云ふ切手をも持つて居る近來歐洲の各交戰國では戰時切手を發行して居る共には戰死者遺族救護切手とか

◆傷病者慰問 慈善切手とかいふものが發行されて居る、例令ば十錢切手に赤十字を印して之れを十五錢で賣出すそうすると人民は爭つて此の慈善切手を買入れると政府は此の賣上げの内から一枚に付いて五錢宛を赤十字なり戰死者遺族なり又は孤兒院なりへ寄贈する事に成つて居る之等は盛んなる切手道樂を利用した一種の

◆義捐金醵出 の方法であるが露國では此の切手趣味を利用して切手の裏に大藏證券のやうなものを印刷して通貨の代用をして居る寫眞の中央の二十コペークの切手がそれである其他の露西亞、佛蘭西、墺太利の切手は何れも戰時慈善切手である

◆殊に寫眞中 の墺太利の切手は今時の事にて却々手に入らぬものである切手の蒐中には獨逸で用ひ居ると傳へられた四十二珊巨砲の威力を描いたものであるこの他切手に關しては却々趣味の深い話が澤山あるから追々出す事にする

◉美術院展覽會 連日盛況

東京市上野竹の臺の陳列舘に去る十一日より開催中の日本美術院展覽會は連日なか〳〵の盛況なるが例に依り日本畫、西洋畫、彫刻の各部より院の同人を推薦し十三日左の如く發表せり(東京特電)

橋本靜水、築谷等觀、山村耕花、長野草風(日本畫)森田恒友(西洋畫)藤井浩祐、石井鶴三(彫刻)

●女房を斬つて 懲役一年六ヶ月

江原道淮陽郡上初北面龍淵里李發求事李發弼(三九)は十九歲の頃親族なる同郡府内面金台日里朴成球の長女朴粲女の入婿となりたるも其姑李姓女との折合惡しく一度實家に立歸り其後朴粲女が十五歲の頃復歸して同面龍淵里にて朴粲女と一家を構へたるも生活に窮し居るを姑李姓女が知りて粲弼の不甲斐無きを常に口穢く罵り妻に迄も輕蔑さるゝより自暴自棄となり日夜飲酒賭博に耽りゐたれば朴成球より以前與へられたる地所を引揚げられ妻は實家に逃げ歸ること度々なるより大正三年舊十一月中妻を元山某經學堂に入堂せしめたるに其の後妻を晦まして歸宅せず已むなく家具を賣却して旅費となし元山に赴き妻の搜索をなしたるに妻は何時しか實家に歸りて潜伏中なるを探知し本年舊四月二十八日妻の宅に至りて談判中平素の鬱憤一時に込み上げ有合せたる斧を以て妻朴粲女の頭部外數箇所に斬りつけたる際防止したる姑李姓女をも負傷せしめたる殺人未遂事件は京城地方法院にて懲役一年六箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

別世界 大阪鼠島を觀る

面會人は妹脊山、川を隔てゝ物語

◆記者は今大阪鼠島の一角に立てゐる、鼠島は虎疫患者の家族や傳染の虞あるものを收容する場所である事は誰も知つてゐるが、それが何處にどんな風に出來てゐるかと云ふ事は知る人甚だ少い、こんな危險區域に好んで足を踏み入れる人は誰もないからである、記者は目下虎疫猖獗の頂上にこの鼠島を探險すべく水を渡つた、實に探險である、日本アルプスに五人の學生が斃れたも冒險なれば鼠島に渡つて親しく隔離所を見舞ふのも少なからぬ冒險である、今少しくその探險の跡を報告しやう

◆鼠島と云ふ名からして既に心地よくないその場所は大阪市の西北西野田下島町と云ふのがそれで新淀川の西北中津川の中流にある島地で隔離所はこの島地の總坪約四百坪の區域を劃して建てられてある、東手は青く茂つた雜木が植ゑられ風光は決して惡い譯ではないが中津川の汚水が同所の下手で堰かれて見るも物汚く惡臭…投關係者が愛に收容されてゐると思ふと自然の美なども一つも眼に入らない

隔離所の南手には小さな收容者の通用門

があつて其の係のものは通ひ船で行くことになつてゐる、收容所は五棟の長方形の建物から成立て消毒所、看護事務所、衛生詰所、面會場等の設備がある、虎疫發生以來その家族で傳染の虞れある者は五日間愛に隔離され浮世捨ての佗住居、罪なくして配所の月を見る事となつてゐるのである、愛には紅も綠もない、只一刻も早く浮世に出たい、娑婆へ歸りたいと云ふ人々の神經が漲いて全島を蔽ふてゐるのである。

◆元來鼠島と云ふ名は十四五年前ペスト猖獗の時から通稱となつたと云ふ話であるが實はそれ以前より稱へられてゐた名で古く鼠が非常に繁殖して人の方から逃げ出した事があるからだとも傳へられる何にしても厭な處で今年から或は虎島と改稱されるかも知れない、愛に渡つて來る流人即ち收容者は南の門を入ると直ちに消毒續いて入浴女ならば髮を解いて洗はせられる、いゝ氣持になつて湯から上ると、其間に衣類携帶品は未消毒室から機關室を經由し消毒室に運ばれ別々に麻布袋に入れて蒸汽消毒をされる、しかし消毒が濟んで恐るべき黴菌がなくなつたと思ふと可い氣持にならねばならぬ筈だ

◆それから貴重品は別に保管せられ收容所へ入れる、收容所建物の中央は板敷の通路で兩側は四疊半の部屋が列んでゐる、室は比較的清潔で畳も新しい、室の後方は各々炊事場となつてゐる、收容者には各一人一日二十錢宛支給し辨當は自由に任せてある、河の流れ一種…

の檻で惡うした中へ同じ境遇で入つて來た人々は直ぐ三十年の知己となつて了ふ

自炊は勝手であるから小兒を引抱へて炊事をやる、その小兒が遊戲をやる、隔離所内を走り廻つて小使は掃除に困る…

慈悲の長屋住居である、人數によつて然るべく室割されるが大抵一家族一室に收容され酒煙草から菓子…も自由に買へる、收容者に對しては醫師と看護婦が毎日診察して虎疫疑似者は隔離室に入れ、決定患者は桃山病院に送る事となつてゐるが愛から桃山まで送る運搬の苦痛に…大方のものは思ひいて了ふと云ふ話である。

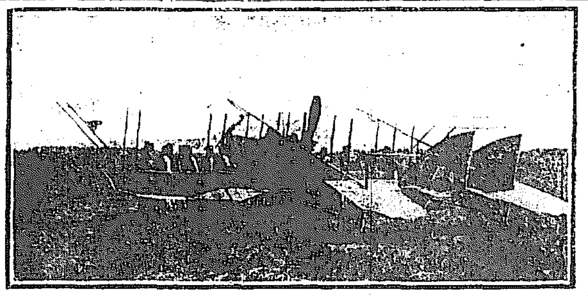
◆全く傳染の虞なく壯健のものは五日間を愛に暮らさせて退去させる、愛へ來る流人は地獄の一丁目くらゐな處へ一寸苦役を勤めに來た氣で念佛など呟いて來るくらいだから、いゝ氣持ではないが五日間の無聊に苦しんで種々な遊戲をやる中には壯健すぎて困つてゐる若い者などは精々面白さうな女の處を選んで終日陽氣な世間話で暮らすもある、川風涼しく渡る夕暮頃からは劍先の運動場が賑ひ樹蔭で小兒らしい運動遊戲にキヤツ〳〵と騷ぐ、土俵場では相撲が始まる、南天井で浪花節や音頭が聞ける、室では老人が碁や將棋を樂しんでゐるもある。

◆他から想像したとは案外氣樂らしく見ゆるが一度び愛へ來て見る…

父母妻子に死別れ五日間只夢の如く暮らしてゐる人

もある、…

◆面會人は通船で來て面會所に入り收容者が呼出されて愛に面會するのだが一定の境界線を隔てゝ話を交すのだから何だか妹脊山の山の段川を隔てゝ物語るやうな頼りないものである。(大阪支局ＳＳ生)



◈支那の飛行大會

支那に於ける飛行機は北京南苑に航空學校創設され…居りしが…後之れを許可し不日初めて城内飛行を試み各界人士を招待して盛んなる飛行大會を催せり…當日使用せる…浙江人…氏に依りて作成されたる…飛行機にして…觀せる群衆の光景なり

◆秋こそ來つれ七草のこりぐ(上)

踏みしだく野末に蟲の音も冴えて

さやまめの太りに秋來ぬと驚へてから、朝夕の風漸く肌に寒く、千草の花は今を盛りと咲き亂れて、野面を飾る其の中にも、秋の七草は又一しほ艶にやさしい色香に咲き出でゝ、愁なき人の胸にもしみ〴〵と沁み入る樣な一味の寂寥を送つて居る。

秋の野に咲きたる花をおよび折りかき數ふれば七種の花

と、山上憶良の詠んだ秋の七草、いでや數へて見やう。

◇萩 荳科に屬する野生の灌木――と云つてしまへば夫れ迄だが、露が降り積つたのではないかと、あやしまるゝ許り、ほの白う月に咲き出た風情はまた一としほで、萩は日本の秋中に永和元年及び同十四年(今から千七八十年前)に、萩の花の宴が催されてあるのを見ても

古くから觀賞されて居た事が判る、種類には宮城野萩、山萩、木萩などあるが、中にも宮城野萩は一名錦萩又は亂れ萩など稱し、花には白と紫とが有つて、花の盛は萩の中でも一番永く、最も人の賞觀するものである山萩は枝を垂れず、木萩は幹が稍指の太さ位になり、花は淡紫色である、古歌の中に見る庭見草、玉水草、野守草、秋地草、初見草、月見草、鹿鳴草などは皆萩の異名で、或は宮廷の御所に萩の戸、萩殿などと云ひ、又庭隊の雅致を添へる爲めに萩に結び…の葉むけのかたよりに…品字形に出た其の優しい葉…の哀れをそゝるもの…あはれ此の葉も…用品とし、或は乾燥して牛馬の飼料に…

に供せらるゝのみか、枝は箒として用ひらるゝに至つては、さぞかし萩も昨日に變る身のあさましさに泣くであらう。但し其の幹ばかりは、箒の柄として(仙臺の名産)詩人墨客の愛玩を擅にして居る。

◇尾花 尾は薄と綴たといふ、薄は爾と綴ぬといふ、あれ綴たといふ綴ぬといふ、薄が穗に出てあらはれた。――此の「穗に出た薄」が即ち尾花であつて、之を花薄とも穗薄ともいふ。其の種類には葉に鷹の羽の樣な斑のある鷹の羽薄、虎の斑の樣な斑のある虎斑薄、縱縞のある縞薄、葉の糸の樣に細い糸薄、鬚毛の如く花の散る鬼薄等がある。

ほうけた穗を風に吹かせてサラ〳〵と淋しい音に鳴り渡る時は、如何にも「秋の哀れは我れのみぞ知る」と云ひたげで、そゞろに人の哀愁をそゝ…

著もある。本木科に屬するのでも、…見の宴には無くてはならないもの一つに數へてある。

◇葛 吉野の御主産にもう一つ名物、葛…誰茶に舌鼓を打たせる葛餅、さては漢方醫の感冒藥、葛根湯中の一味も、菓子の製造につかふ澱粉も、皆此の葛の根から造るのである。豆科に屬する宿根の纏繞草本で、紅紫山人が「野邊の眞葛のノサバリ放題」と云つた通り、草といはず木といはず、手當り次第に絡み付くいたずら者だが、其の眞紅な苔、紫赤色の花殊に表は青く裏の白い扁平な葉が、夕風にヒラ〳〵と翻る風情は、そゞろに人をして肌寒を覺へしめる。歌人は之れを葛の葉の裏見といつて、恰も人の恨を致す樣な所から、恨に通はせ、根の秀句として萬葉集、古事記、日本記等の中に其の名を發し…其の纖維は葛布を織り、遠州掛川の名産となつて居る。

◉佛道救護班歸著

大正三年東京出發佛國巴里に派遣され同地にて日本赤十字病院を開設し爾來二年間同國傷病將卒數萬人を救護したる遣佛救護班醫長鹽田醫學博士以下二十餘名は十三日郵船伏見丸にて神戸著十四日伏見桃山御陵を參拜し十五日午後東京著歸京の豫定なり(東京特電)

◉入港船へ通達

爾今虎疫流行地より仁川に入港する船舶に對し仁川に碇泊中船客、船員の糞便は之を海中に投棄する事なく必ず一定の便器に排便し出港前當該吏員に於て受理處分する事を通達せりと

◉龍山種痘日割

京城府龍山憲兵分隊管内に於て秋季種痘を左記日割の通り施行するにつき生後九十日以上の未種痘者及び種痘善感後五年を經過したる者並に初種痘者にして不善感なりし者は各其集合區域の施行場所に就き種痘及び檢痘を受くべしとのことなり尚當日雨天の時は所定最終日の次に繰下施行する由

▲九月二十一日岡崎町私立門外幼稚園(三坂通、岡崎町漢江通四番地内に居住する内鮮人)▲二十二日各校幼稚園(龍山公立尋常小學校生徒、私立龍山幼稚園々兒)▲二十四日龍山公立尋常小學校(漢江通自一番地至十六番地但四番地を除く内に居住する内鮮人)▲二十三日私立義塾學校(二村洞内に居住する内鮮人)▲二十五日元町憲兵派遣所(青葉町一、二、三丁目、元町一丁目、京町内に居住する内鮮人)▲二十六日同所(元町二丁目、榮町、大島町、彌生町、錦町内に居住する内鮮人)▲二十七日同所(元町三、四丁目、清水町、岩根町、山手町内に居住する内鮮人)▲二十八日居住民は麻浦渡船事務所學校生徒は學校(麻浦洞、桃花洞内に居住する内鮮人、麻浦公立普通學校生徒)▲二十九日本町通各學校に於て(京城高等學校生徒、元町公立尋常高等小學校生徒、龍山公立普通學校生徒)

◈斃牛の腹から毛塊

仁川にて來間島一兩滯に於て牛疫の爲め斃死せる牛を解剖せるに腹より異形の毛塊出で外部は石の如く堅く内部には凝結せる毛充滿し何物とも判明せざる由

◉招魂祭順序

仁川にて二十日午前十時より擧行さるべき秋季招魂祭の次第は左の如く決定したり(仁川)

一、修祓二、齋主降神の詞を奏す(…)三、獻饌…四、齋主祝詞を奏す、五、祭主玉串を捧げ拜禮…六、齋主玉串を捧げ拜禮、七、…八、…九、官公吏以下順次玉串を捧げ拜禮、十、撤饌…十一、齋主昇神の詞を奏す

◉福田警視逝く

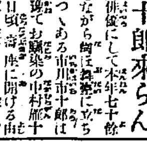
平壤警察署長警視正七位勳六等福田順裕氏は十一日午後十一時心臟麻痺を起して逝去せり享年五十葬儀は十五日山手町官舍出棺照圓寺に於て佛式にて營む筈なり氏は明治二十八年警部補として咸興警察署に勤務し同四十五年京城北部警察署長に任じ大正二年警視に昇進して新義州警察署長に轉じ同四年五月平壤警察署長に補し同五年五月勳六等に敍せらる今回突然黄泉の客となりしは惜む可し

◉科料七名

仁川府内…外六名は其筋の示達に違犯したる方法にて…を…發し此程七名の中六名は五十錢宛一名は一圓の科料に處せられたり

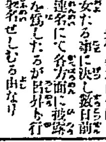
◉仁川の腸窒扶斯

仁川花房町二丁目居住…之助長女大和は去る十二三日前京城より歸宅したるに間も無く腸窒扶斯に罹り直ちに傳染病院へ收容されたり(仁川)



▲市十郎來らん

大阪名題俳優にして本年七十餘歲に達しながら尚は舞臺に立ちて活躍しつゝある市川市十郎は郎と一座して本月二十一日頃壽座に開ける由因みに同人は小紅屋の家號を冠りその當り役は石川五右衛門、明智光秀等にして總じて時代物を得意とし居れり



▲呂昇の養女

豐竹呂昇門下にて將來を屬望され居りし豐竹昇六は今回呂昇の養女たる事に決し數日前呂昇と連名にて各方面に披露の挨拶を爲したるが呂昇一行にしく同人に二代目を襲名せしむる由なり

▲大正舘 は寫眞活劇「運命」…後篇「旅日記」にて觀衆大入を續け居れり

▲黄金舘 …活劇…坊主、…寫眞を映寫し居れり

油斷大敵！

コレラ

赤痢

惡疫の流行は猛烈なり！

効能本位の懷中良藥

守田寶丹は今時缺せぬ豫防藥

今スグ御用意あれ

▼頭痛眩暈 ▼船車酒の醉 ▼氣附毒消 ▼下痢腹痛 ▼食傷水傷 ▼寢冷吐瀉 ▼惡疫豫防

定價 金拾錢・廿錢・卅錢・五拾錢・壹圓・參圓 卅錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ

東京下谷池の端仲町廿七番地 守田治兵衛 振替東京二九八五

各藥店に販賣す

蠶繭業 屑物賣買 京城府龍山漢江通八番地 河原詩夫綿絲店 電話(龍)四三一番

京元線釋王寺溫泉場 鶴松園 今や松茸狩の好季節

山田醫院 本町二丁目四十五 電話一三八〇番 内科 小兒科 花柳病 眼科 呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作 (入院隨時) 尾形周太郎

廣島名産 山まゆ織 各地特約店 廣島市大手町十丁目 高橋光時商店 振替大阪二〇六九

コレラ恐るゝに足らず 胃腸さへ健全ならば

くだりはらによし

コレガ有名ナ あかだま 赤玉 東京浅野製

全國各地藥店に販賣す

しぼりはらによし

花柳病外科專門 ◉梅毒 ◉淋病 ◉泌尿生殖器病 ◉婦人病 ◉肛門病 ◉皮膚病 ◉六〇六注射 ◉神經衰弱 ◉包皮其他手術 毎日診察 無料入院隨時 京城南大門通(朝鮮銀行裏) 司生堂醫院

父順裕事病氣にて本月十二日死去致候間不取敢紙上を以て謹告致候追て十五日午後四時半山手町官舍出棺照圓寺に於て葬儀相營み申候

大正五年九月十四日

嗣子 福田裕
親戚總代 福田武規
倉澤賢治郎
三井十三二
瀧元次郎
友人總代 吉松憲雄
内田錄郎
宮川五郎三郎
大橋恒藏

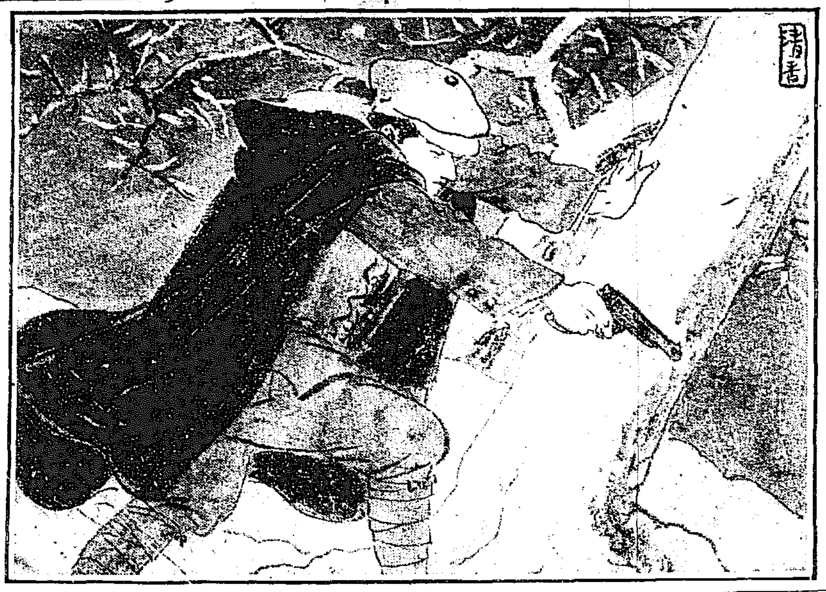
辱知諸君

女鳩

渡邊默禪

「一〇五」背後

生駒は急いで源太を呼んだ。
『おい、見ろ。彼處にうぢ〳〵人が群つてゐるが、何だか獵でもやつてるやうな塩梅だぜ。外にこんな深山に入つて來る者が有る譯がないから、確かに彼の手合らしい。如何したんだらう』。
嘯くやうに言ふと源太は凝乎とその方向を眺め下して
『む、爾うらしいや。頭の數も十から上へ出てゐる。こいつあ失策つたかな。六日も乾干にさせ、これなら仁王さまだつて鐵砲一つ持てる譯のものぢやねえから、あんな行動ができよう理がねえ。訝しいなア、こりや』。
『どうも譯が分らん。こんな筈がないんだが……』と首を捻つた。
『どもかく、最つと先に行つて見ようぢやアせんか。それなら其樣に又た何とか分別が有りまさア』
『む、爾うしよう』。
歩き出したけれども、前のやうな元氣がなく、十間行つては立停つて其方を見、半町行つては背伸をして行手を窺くといふ有樣が、源太には氣の毒にもあり又た笑止にも思はれるくらゐだつた。此時は全く雪が霽れて空が明るくなつてゐたので、遠い距離もはつきりと見ねて來た。始めは豆のやうに小さかつた人影が進むにつれて木葉ほどになり、紙雛ほどに大きくなつた。顏こそ分らないが體の輪廓や衣裳の形好だけは、肉眼でもどうかこうか見分がつくまでになつた。
『あゝ居た〳〵。村の衆だ〳〵』。
『あれ、あれが殿樣だんべね』。
事情を知らぬ人夫側は無事なのを歡んで、口々に噪き立てた。生駒の顏面筋は見る〳〵うちに痙攣して、ぴたと其處に棒立になつた。
『をいツ、源太ツ』。
『へい』。
『見ろ、このざまをツ』。
『どうするんだ、畜生ツ』。
『叱つたつて仕樣がごアせんや、私の精ぢやねえんでげすから』
『俺ア踊る。行くのは厭だ』。
『勝手になさいやし。お前さんが一人で極めて一人でおやんなすつた仕事ですもの、それが思ふ壺にはまらなくつたつて、他人の精に爲なさることは能きめえから、まア仕方がねえ、一人でブン〳〵怒つてるのが一番ようがす。當り障りがなくつてね』。



『汝までが仇になつて俺を冷嘲すのか。情ない奴だ。あれ、見ろ〳〵、鳩子が居るぢやないか、鳩子が……ど、ど、如何してくれるんだ、おい、源太、冗談ぢやないぞ』。
『そんなに私へ獅噛著いたつて仕樣がごあせんや、アハヽヽ。旦那、まア氣を揉まずに私へ委せときなさい。やし、何とかしやすから……賭博だつてお前さん、目が狂ひや奇が偶と出ることもあるんですぜ。はゝア、彼處に居るのが親仁だな。劍呑〳〵、あいつア俺には敵殺だ』。
そのうちにわつといふ鯨波が揚つて、馳交う人影が一處になだれて行く。四五町ばかり離れてゐる谷底ではあるが、この光景は手にとるやうに見ねた。源太は頷いて、
『ようがす。旦那は私へ構はずに小屋の方へ行つて、知らん顏をしておいでなせえ。物の一時間と經たねえうちに、乾と私の手並をお目に懸けますから……へン、お誂への修羅場と來たらア』。
源太は恁う囁いてから、身を躍らしてする〳〵と懸崖の雪を滑り落ちた。見る間に氷結した出谷川を一飛にして向ふの岸へ上つたまゝ、忽ちに姿を隱した。
それから卅分程經つと、彼は突如として或る小丘の後に現れて出た。その前面はちやうど手飼の一隊が熊の穴居を發見して、それを撃つべく犇き立てゝゐる岩壁の下だつた。數發の銃聲、混雜する人聲。檻を破つて突出した手負熊の今しも猛然として躍り蒐つた一刹那。源太が右手に隱し持つた拳銃は雪の木蔭にぴかりと閃いた。標的はたしかに鳩子?

新刊紹介

▲相談之友(九月號)離婚と小供、女佛命令の話、身上相談、浮世相談其他庭生上相遇する各種の法律上の相談の友たらんとするもの(五錢東京市本郷區駒込千駄木町一八六其社)
▲人格と幸福(九月號)論說、修養、講談、健康、職業、家庭、文藝、動静の各欄各種記事を收む小冊子の割合に内容豐富(六錢京都市祇園西石小路東山通西入明治修養會)
▲ABC(九月號)英語入門獨習雜誌とも稱すべきものにして發音法讀方熟語、書取、會話等を最も興味ある題材に依り平明に說明せる雜誌(十二錢東京市麴町區富士見町六ノ一〇研究社)
▲紙の世界(九月號)五錢東京市小石川區西原町二ノ一一其社
▲大日本新聞(九月五日號)五錢東京市麴町區有樂町一ノ四其社
▲山東(九月號)銀十錢支那濟南商埠二馬路山東通信社
▲日本國教大道叢誌(九月號)先王制作の國教を講明祖述せるもの本號には個人主義の思潮に伴ふ弊害を匡救する方案を載す(十錢東京市小石川區關口町一九〇大道社)

日記帖から

志乃

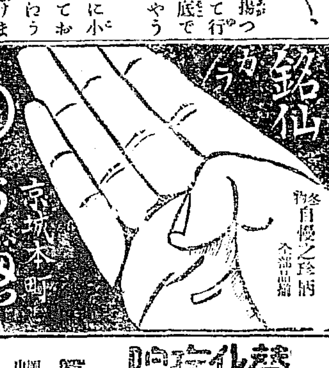
□鍾路街 日向草メリケン袋たゞはたり
□世の微塵 紫陽花夕べ調藥待つ長し
□黄金町通 秋暑し黒幌たるゝ車過ぎゆり
□南山神社 蟬しぐれ祭提灯吊るす
□同公園 素裸人ある帽子噺へし犬
□同 ベンチ凭りかて噴水柱傾むく
□パゴダ公園 涼夕犬ぢれ反りうつ芝ひろし
□同 夕蟬の木立遠ざかる樂音なり

内科 小兒科 花柳病 外科 入院隨意 南米倉町朝市場通仁濟病院跡 上野醫院 電話二九三四番

山岳行君に提議す小生は差し當り栗川の冠岳山を推薦したい其れとも一夜泊りなら南漢山もよかろう要は早く實行にあるのだ(健脚老狂)

▲近來家賃の高値を訴ふる投書多し時機適切なるを感ずると共に家作の掛なるものに善良なる人少なし賃借料下げと同時に改良を希望す又た雜貨品の商人中には又々升目若くは量目に横著をきめる者がある(天下の目附)▲近來又々琵琶界に百鬼夜行が始まつたとの風評が盛だ(テン生)▲風呂錢が導火線となりて此頃頻りに物價高論を唱へる樣だが何もこれ等二三の物のみが高いと謂ふ譯ではない諸官一に官吏、銀行、會社員の給料、職工其他勞働賃金から家賃、金利、醫藥費、瓦斯、電氣、給水料、學生の月謝、諸藝教授料、興行物から宿屋料、理髮屋、遊興費其他あらゆる日用品に至るまで皆一樣に内地に比して高いのであるそれを單に一二のもの丈を揚げて攻擊をする者は餘程思慮の足ぬ『ポンスーだ』(公平坊)▲内地では文展やら院展やらで畫家は大車輪だ朝鮮でも之に類したものをやつては何うです隨分畫筆を持つ人があるのでせう畫家諸君の奮起を望む但し之迄の樣に何々畫伯展覽會とか云つて押賣りは御免を被る(好畫家)▲朝鮮の田舎の旅館に行くと何や乎や種々なものを食事の膳前に並べて無暗に數を見せるのは閉口だ第一何處へ行つても出て來るのは雪駄の樣なカツレツやビフテキには恐れ入る(改革希望者)

商況
大阪期米
下關期米特電
八月限 九月限 十月限


冬の仕度は先づ銘仙から
冬自慢之珍柄 全部品揃
京城本町 (株) ちぬや 電話九〇番

●ぢ疾者に告ぐ
●いぼぢ●きれぢ●ぢろう●だつこう
●出血痔に効力正しき良藥有仕候 端書で申越の方に詳報
兵庫縣加古郡坂元村 元庄本家

貫化病院
京城本町二丁目 電話二四一番
内科 小兒科 入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

債券旬報
勸業債券高價買入
買價表 (九月十二日現在)
五十回 拾壹圓貳拾錢
五十二回 拾圓八拾錢
五十八回 十圓七十五錢
六十三回 十圓八拾錢
勸業債券月賦販賣
實行し易くして成功に確き貯蓄を不知不識の裡に爲し遂げ得らるゝ勸業債券の月賦販賣法は本社獨特の考案にかゝるものにして趣味津々たる現社界より多大の賞賛を博しつゝあり
營業案内債券月報申越次第無代進呈
大阪市東區南久太郎町二丁目 電話(東)四六四三番 振替大阪二九四一四番
出張所所在地…京都市烏丸通四條上ル 電話中二五二八番…神戸市元町六丁目 電本局三〇八二番
大阪債券株式會社

紳士
□香氣の馥郁たる事 □風味の醇美なる事 □色澤の鮮麗なる事
□名聲の如く □典雅なる如く □擧止の如し
貴顯紳士の御用料として攝津灘に於て特別釀造したる完全無缺の美酒に御座候
發賣元 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 (電話四二九番)

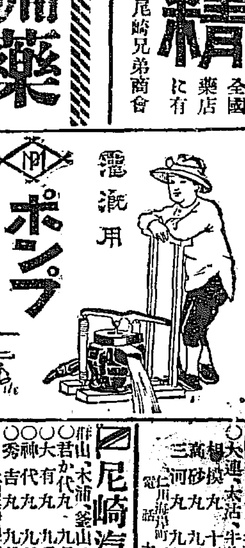
コンデンスミルク 鷲印

ワシミルク
皆樣の一番お好のミルクは?
僕の兄さんも姉さんもワシミルクを呑んだの!
そして美ちゃん處も皆なワシ黨なの!!

かつけには 尾崎糖精 全國藥店に有
販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會

▲最も進歩せる家庭常備藥
恐るべきコレラ赤痢の流行季 家庭藥の御用意は刻下の急務
京城南大門外停車場前 ドラッグ商會家庭藥部 電話二五六七 振替京城四六七
本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會

●松田式ポンプ
灌漑用 家庭用 ポンプ


御申越次第目錄送呈
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番 二七七四番 振替京城二五六番

模範 牛乳
純粹培養 ヨーグルト
場主 獸醫 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 (電話五二番)

登錄商標 瓢水味淋

專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

金泉醸泉間自動車時間
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕り候

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第十一共同丸 九月十五日後四時入 九月十七日前九時出
關東都督府命令航路 朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本社取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所關航路連絡乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
須磨丸 九月廿一日
安東丸 九月十八日 後五時出
大智丸 九月廿四日
○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 九月十五日 後二時出
信濃川丸 十月二日
○群山、釜山、横濱行
福州丸 九月廿八日 後二時出
潮州丸 九月 日
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
天智丸 九月 日 後二時出
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 九月廿七日
信濃川丸 十月十五日 後二時出
○大連直行
福州丸 十月三日
潮州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎭南浦行
天智丸 九月十四日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)
印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸 九月十六日
宮島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 九月廿四日 後四時出
湖北丸 九月 日 前六時出
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 九月十九日
○京畿丸 九月廿九日
○黃海丸 十月 日
○咸鏡丸 九月廿三日 釜山發
門司より釜山各港經由咸鏡航路
○穩城丸 九月二十日
○昌平丸 九月十八日
○鏡城丸 九月十四日 元山發
元山より各港經由雄基行
○忠淸丸 九月十五日
○平壤丸 九月廿七日 元山發
城津淸津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
○永興丸 每月廿八回 元山發
北久味、五里浦行
○孟德丸 九月十五日 釜山發
甘浦、九龍甲、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 釜山發 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 九月十八日 釜山發
長承浦、統營、巨文島濟州島各寄港
○濟州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
各港經由麗水行
○順天丸 三日目每ニ 木浦發
○慶興丸 九月十八日 木浦發
○慶興丸 九月廿一日 木浦發
○公州丸 九月十六日 木浦發
○宗信丸 九月 日 仁川發
○江原丸 九月十五日 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 九月廿一日 九月十七日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 仁川發
本社 京城南大門驛前 松原運送店

尾崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 九月廿二日後四時出帆
○大有丸 九月十九日後四時出帆
○神代丸 九月十五日後四時出帆
○秀吉丸 九月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月 九日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部